

在庫管理システム 操作説明書

2005.01.25
(株) アルファテック

目次

1) メインメニュー	5
01: 仕入入力	7
02: 商品変更	13
04: 展示会持出入力	15
05: 委託入力	19
06: 売上入力	23
07: 加工入力	27
08: 分解入力	31
09: 仕上げ入力	34
10: 商品照会	37
90: バックアップ	40
2) 値札印刷メニュー	41
201: 値札印刷	42
202: 値札印刷(再発行)	44
203: 札値変更入力	46
204: 商品コード印刷	47
205: DM シール印刷	48
3) 日次帳票メニュー	50
311: 仕入日報	51
312: 売上日報	52
313: 振替伝票出力	53
315: 加工入力リスト	54
316: 分解入力リスト	55
317: 在庫調整リスト	56
318: 展示会持出一覧	57
4) 随時帳票メニュー	58
401: 売上集計表	59
401-1: 売上日報(日別)	61
401-2: 売上日報(伝票番号別)	62
402: 仕入集計表	63
402-1: 仕入日報(日別)	65
402-2: 仕入日報(伝票番号別)	66
403: 得意先管理表	67
403-1: 得意先別売上月報	69
404: 仕入先管理表	70
404-1: 仕入先別売上月報	72
407: 在庫状況照会	73
407-1: 在庫状況照会表	75
408: 売上状況照会	76

408-1: 売上状況照会表	78
409: 商品台帳	79
409-1: 商品台帳結果	80
5) 月次帳票メニュー	81
421: 得意先別売上集計表	83
422: 委託残高照会	85
422-1: 委託残高照会	87
422-2: 委託残高照会(明細)	88
423: 受託残高照会	89
423-1: 委託残高照会	91
423-2: 受託残高照会(明細)	92
425: 展示会別売上集計表	93
426: 展示会別持出残高照会	95
426-1: 展示会別持出残高照会(展示会別明細)	97
427: 展示会別持出残高明細表	98
428: 仕入先別仕入月報	100
431: 売上実績表	102
431-1: 売上実績表	105
431-2: 売上実績表(明細)	106
435: 売上・仕入管理表	107
441: 在庫集計表	108
441-1: 在庫集計表	110
441-2: 在庫集計表(集計区分別)	111
444: 在庫一覧表	112
6) 売掛・買掛帳票メニュー	114
451: 売掛残高登録	115
452: 入金入力	116
453: 売掛残高一覧	119
453-1: 売上明細照会(得意先別)	121
453-2: 売上集計表(伝票番号別)	122
454: 得意先元帳	123
455: 請求残高一覧	124
455-1: 請求残高照会(請求先別)	126
456: 請求書発行	127
457: 請求締日更新	128
461: 買掛残高登録	129
462: 支払入力	130
463: 買掛残高一覧	133
463-1: 仕入明細照会(仕入先別)	135
463-2: 仕入集計表(伝票番号別)	136
464: 仕入先元帳	137
465: 支払残高一覧	138

465-1 : 仕入明細照会 (仕入先別)	140
467 : 支払締日更新	141
7) 棚卸処理メニュー	142
501 : 棚卸準備処理	143
502 : 棚卸入力	145
503 : 棚卸照会	146
504 : 棚卸過不足表	148
510 : 在庫調整入力	150
8) マスタ登録メニュー	153
701 : 得意先マスタ登録	155
701-1 : 得意先一覧表	157
702 : 仕入先マスタ登録	158
702-1 : 仕入先一覧表	160
703 : DM 顧客登録	161
703-1 : 顧客マスタ検索 (重複チェック)	163
703-2 : 顧客一覧表	164
704 : 地金マスタ登録	165
705 : 石マスタ登録	166
706 : 品種マスタ登録	167
707 : 展示会マスタ登録	168
708 : 担当者マスタ登録	169
709 : 取引区分名登録	170
711 : 決済区分登録	171
712 : 商品地金マスタ登録	172
713 : 換算地金登録	173
714 : その他商品登録	174
714-1 : その他商品一覧表	175
715 : 支払区分マスタ登録	176
720 : 旧商品情報削除	177
9) 地金処理メニュー	178
801 : つぶし渡し入力	179
802 : つぶし入力	182
803 : つぶし管理表	184
811 : 地金支給入力	185
812 : 地金戻し入力	187
831 : 在庫一覧表 (社内)	189
832 : 在庫一覧表 (地金)	190
833 : 在庫調整リスト	191
841 : 商品出納帳 (地金)	192
842 : 商品出納帳	193
843 : 商品台帳 (半製品)	194
851 : コスト調整処理	195

1) メインメニュー

… システムの起動時に表示される、在庫管理システムの主となるメニューです。

メインメニュー	
01 : 仕入入力	30 : 日次帳票
02 : 商品変更	40 : 随時帳票
04 : 展示会持出入力	42 : 月次帳票
05 : 委託入力	44 : 売掛・買掛帳票
06 : 売上入力	50 : 棚卸処理
07 : 加工入力	60 : 更新処理
08 : 分解入力	70 : マスタ登録
09 : 仕上り入力	80 : 地金在庫
10 : 商品照会	90 : バックアップ
20 : 値札印刷	99 : システム終了

処理No

1. 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 01 : 仕入入力 | 仕入伝票の登録、更新を行います。 |
| 02 : 商品変更 | すでに登録してある商品情報を変更することができます。 |
| 04 : 展示会持出入力 | 展示会への持出伝票の登録、更新を行います。 |
| 05 : 委託入力 | 委託伝票の登録、更新を行います。 |
| 06 : 売上入力 | 売上伝票の登録、更新を行います。 |
| 07 : 加工入力 | 登録商品を加工する場合の伝票を登録します。 |
| 08 : 分解入力 | 登録商品を分解する場合の伝票を登録します。 |
| 09 : 仕上り入力 | 仕上げを行う商品を登録します。 |
| 10 : 商品照会 | 登録商品の詳細情報を照会します。 |
| 30 : 日次帳票 | 日次帳票メニュー画面を開きます。 |

40：随時帳票	随時帳票メニュー画面を開きます。
42：月次帳票	月次帳票メニュー画面を開きます。
44：売掛・買掛帳票	売掛・買掛帳票メニュー画面を開きます。
50：棚卸処理	棚卸に関するメニュー画面を開きます。
60：更新処理	更新に関するメニュー画面を開きます。
70：マスタ登録	マスタ登録に関するメニュー画面を開きます。
80：地金在庫	地金管理に関するメニュー画面を開きます。
90：バックアップ	登録されている全てのデータをMOにバックアップします。
99：システム終了	本システムを終了します。

01 : 仕入入力

仕入入力												
修正												
伝票番号	取引区分	仕入先名		入力担当者	伝票日付	仕入先伝番	区分	開始No	予約数	登録		
000001	1 仕入	00001	仕入先A社	555 アルファテック	04/11/01		0	05680				
行	商品番号	地金名	品種類名	中石名	中石	数量	単価	金額	掛率	礼	値	
001	PDAN 05679	000 Pt	ネックレス	ダイヤ	0.500	1	20,000	20,000	500		100,000	
002	PDAFR 01560	000 Pt	リング	アクリル		1	25,764	25,764	0		720,000	
003	PDAR 00840	000 K18WG	ブレス	ダイヤ		1	34,247	34,247	0		0	
004	WDAPR 04381	000 K18WG	ファッションリング	エメラルド		1	274,077	274,077	0		0	
005												
006												
007												
008												
009												
010												
合計						4		354,088				
行	商品番号	地金名	中石	中石	数量	単価	金額	掛率	礼	値		
001	PDAN 05679	000 P Pt	DA	ダイヤ	0.500	1	20,000	20,000	500	100,000		
在庫区分		品種類名		モデル名		グレード		保証書区分		保証書No	デザイン	
0 製品		N ネックレス										
行削除(F7)			脇石		脇石		重量		長さ		備考1	備考2
							0					
			付属石		付属石		備考3					
伝票削除 (F8)						伝票終了 (F12)						
登録(F1)												

- 1. 伝票番号** 登録または更新する仕入伝票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
- 2. 取引区分** この伝票での取引を数値で入力してください。
 尚、入力値は 1 = 仕入, 2 = 返品, 3 = 受託, 4 = 受返となります。
- 3. 仕入先名** 登録する仕入先について、マスタ登録されている仕入先コードを入力してください。該当する仕入先がある場合は隣の欄に、仕入先の名称が表示されます。また、該当する仕入先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
- 4. 入力担当者** 登録する担当者のコードを入力してください。
 該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。

20. 保証書区分 保証書区分を入力してください。
尚、入力値は 1:鑑別, 2:鑑定, 3:ソーティング, 4:保証書,
5:保証書・ケース, 6:ケース となります。
21. 数量, 単価, 金額, 掛率, 札値, グレード,
保証書 No, デザイン, 重量, 長さ, 備考(1~3)
登録する商品の各々の情報を入力してください。
重量につきましては、小数点以下第二位まで入力できます。
22. 登録(F1)ボタン 画面下部の登録ボタンは、伝票の明細行（画面下部で入力する商品に関する情報1行分）を登録します。
23. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。尚、実際に在庫のある商品が表示されている場合のみ、このボタンが使用できるようになります。
また、このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。
削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



24. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



25. 伝票終了 / 終了ボタン

仕入伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。

尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が「伝票終了」に変わります。

ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の処理を終了し、値札の印刷が可能です。

「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

※ 画面下部の表示について …

画面の最下部に、入力の際の「補助的情報」を表示するメッセージ欄があります。

表示されるメッセージの例)

例1 … 「1 : 仕入, 2 : 返品, 3 : 受託, 4 : 受返」

入力することができる値の範囲およびその意味を表示しています。

この場合、情報欄に記載されている値以外は入力することができません。

例2 … 「スペース : 検索」

このような表示がある場合、スペースキーを押下することにより入力欄の一覧画面を表示することができます (下記の例図参照)。

この一覧画面より、必要な項目を選択し「Enter」キーを押下する事で、選択された項目が画面に入力されます。



一覧画面

また、単純な一覧画面だけではなく下記のように、検索条件を指定することにより一覧を絞り込むことができる画面があります。

この画面の場合も基本的には通常の一覧画面と同じですが、必要がある場合、検索ボタンの左脇の入力欄に「一覧を絞り込む条件」を入力し、検索ボタンをクリックしてください。

入力した検索条件に合う「情報が絞り込まれた一覧画面」が表示されます。



一覧を絞り込むことができる画面

02：商品変更

商品変更入力

商品変更入力											
商品番号	地金名	品種名	中石名	重量	数量	単価	金額	掛率	札値		
ODAL	03210	000		ルース	ダイヤ	0.00	1	0	12,400	0	0
PDASN	00950	000	P t	フ・ネックレス	ダイヤ	2.80	1	0	7,500	0	0
PJJR	00002	000	P t	リング	シェナイト	9.80	1	0	210,000	0	0
KRUFR	00001	000	K18	ファッションリング	ルース	3.90	1	0	4,000	0	0

商品番号	地金名	中石名	中石	数量	単価	金額	掛率	札値			
00100	05678	000	0	01	ROLEX		1	280,000	280,000	120	336,000
在庫区分	品種名	モデル名		グレード		保証書区分	保証書No	デザイン			
0	製品	00	その他	イクスプローラーI		5	保・箱				
05/02/10	B質屋	脇石名	脇石	重量	長さ	備考1		備考2			
03	000334	001		0.00	0						
備考1より商品を検索		付属石名	付属石	備考3							

登録(F1)

印刷設定

種類	1	1:通常, 2:展示会, 3:小札, 4:通常(旧)	開始場所	01	-	01	展示会名	
----	---	----------------------------	------	----	---	----	------	--

印刷 (F5) プレビュー (F8) 終了 (F12)

1. 備考1より商品を検索

備考1から登録されている商品情報を取得します。

2. 商品番号

変更する商品の商品コードおよび商品番号を入力してください。

3つの入力欄は、左から順番に

「商品コード」「商品番号」「商品番号（子番）」

と並んでいます。該当する商品がある場合は以降の欄に、入力商品の情報が表示されます。また、該当するものがない場合はそれぞれ該当なしを伝えるメッセージが表示されます。

※ 商品番号（子番）は本画面では参照のみとなります。

3. 在庫区分

在庫区分を表示します。本画面では参照のみとなります。

4. 地金名

地金コードを入力してください。（1桁）

5. 品種名

品種コードを入力してください。（2桁）

6. 中石、脇石、付属石

それぞれ石コードを入力してください。（2桁）

7. 中石(石目), 脇石(石目), 付属石(石目)
登録する商品の各々の石目を入力してください。
小数点以下第三位まで入力できます。
尚、中石(石目)は、中石の石区分が0の場合、入力可能です。
8. モデル名 中石の石区分がZ:時計の場合、入力可能です。
9. 保証書区分 保証書区分を入力してください。
尚、入力値は 1:鑑別, 2:鑑定, 3:ソートング, 4:保証書,
5:保証書・ケース, 6:ケース となります。
10. 数量, 単価, 金額, 掛率, 札値, グレード,
保証書 No, デザイン, 重量, 長さ, 備考(1~3)
登録する商品の各々の情報を入力してください。
重量につきましては、小数点以下第二位まで入力できます。
11. 開始場所 値札の印刷開始位置を指定します。
尚、左側が用紙の「行」数, 右側が用紙「列」数を表しています。
12. 種類 値札の種類を入力します。
尚、入力値は 1:通常, 2:展示会, 3:小札, 4:通常(旧)
となります。
13. 展示会名 種類で ” 2:展示会 ” を指定した場合のみ、展示会名の指定が可能です。
14. 登録(F1)ボタン 画面下部の登録ボタンは、伝票の明細行(画面下部で入力する商品に関する情報1行分)を登録します。
15. 印刷(F5)ボタン 変更を行った商品(画面上リスト)の値札印刷を行います。
16. プレビュー(F8)ボタン
変更を行った商品(画面上リスト)の値札を画面表示します。
17. 終了(F12)ボタン
商品変更画面を終了し、メニューに戻ります。

※ 付属石名下部の入力欄について …

付属石名を入力する欄の下に、左から順に「商品の登録日付、仕入先名、伝票区分、伝票号、行番号」を表示する箇所があります。

これらは本画面では参照のみで、この箇所での変更はできません。

04：展示会持出入口

展示会持出入口										
修正										
展示会持出入口										
伝票番号	取引区分	展示会名			入力担当者	登録日付	開始日	終了日		
000043	1 持出	01	IJT東京			555	7/7アテック	05/01/24	05/01/26	05/02/01
登録(F5)										
行	商品番号	地金名	品 種 名	中 石 名	数 量	原 価	掛 率	特 価	売 価	
001	WMBR 00456	000	K18WG	フーネ	マルチ	1	20,000	0	42,000	
002	POOR 00150	000	Pt	リング		1	18,000	0	24,000	
003	PRTR 01410	000	Pt	リング	レッドトルマリン	1	222,500	0	300,000	
004	WJJP 05603	002	K18WG	ペン	ジュエタイト	1	55,000	0	80,000	
005	PDAN 05679	000	Pt	ネックレス	ダイヤ	1	20,000		35,000	
006										
007										
008										
009										
010										
伝票計						5	335,500		481,000	
行	商品番号	地金名	品 種 名	中 石 名	数 量	原 価	掛 率	特 価	売 価	
005	PDAN 05679	000	Pt	ネックレス	ダイヤ	1.000	20,000		35,000	
仕入先A社		0.500			札 値	100,000	04/11/01			
登録(F1)										
伝票削除 (F8)						伝票終了 (F12)				
5										

1. 伝票番号

登録または更新する持出伝票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
2. 取引区分

この伝票での取引を数値で入力してください。
 尚、入力値は 1 = 持出, 2 = 返品 となります。
3. 展示会名

登録する展示会コード(展示会情報登録にて別途登録が必要)を入力してください。該当する展示会がある場合は隣の欄に、展示会の名称が表示されます。また、該当する展示会がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
4. 入力担当者

登録する担当者のコードを入力してください。
 該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
5. 登録日付

登録する持出伝票の日にちを日付形式で入力してください。

6. 開始日、終了日 登録する展示会についての開始日および終了日を、日付形式で入力してください。
7. 登録ボタン 画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。
8. 行 表示または登録する商品の伝票内での行番号を入力してください。また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。
9. 商品番号 登録する商品の商品番号を入力してください。
3つの入力欄は、左から順番に
「商品コード」「商品番号」「商品番号（子番）」
と並んでいます。
新規の行を追加する場合、商品番号を入力することで該当する商品が登録されている場合は以降の欄に商品の情報が表示されます。
尚、伝票を更新する場合、すでにある行の情報は変更できません。
10. 地金名、品種名、中石名、数量、原価、札値、掛率、特価、売価 登録する商品の各々の情報が表示されます。
尚、地金名、品種名、中石名、札値は参照のみです。
また、特価は値札印刷時に特価表示されます。
11. 登録(F1)ボタン 現在、画面下部に表示されている商品を登録します。
12. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。尚、取引が返品または持出の残数がある商品が表示されている場合のみ、このボタンが使用できるようになります。また、このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



13. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



14. 伝票終了 / 終了ボタン

展示会持出伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。
尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力
で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が
「伝票終了」に変わります。
ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の
処理を終了し、値札の印刷、伝票の印刷が可能です。
「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

※ 商品名下部の入力欄について …

明細行を表示する欄の2段目は、左から順に「仕入先名、デザイン、中石(石目)、脇石(石目)
付属石(石目)、備考、札値、商品の登録日付、引当伝票区分、引当伝票番号、引当行番号」
を表示します。尚、これらは本画面では参照のみで、この箇所での変更はできません。

※ 特価について …

特価対象の商品については、本入力欄に「1」を入力してください。
また、特価対象ではない商品の場合は何も入力しないでください。

※地金商品について …

地金商品の入力も可能です。返品時は下記の画面が表示されますので対象となる地金を選択してください。また、地金入力に関しましては“その他商品入力”にて対象地金商品の登録を行ってください。



持出伝番	持出日付	開始日付	終了日付	数量	金額
000044-001	05/01/18	05/01/18	05/01/18	0.410	250,000
000044-003	05/01/18	05/01/18	05/01/18	0.900	750,000

終了 (F12)

05 : 委託入力

委託入力												
修正												
伝票番号	取引区分	得意先名		委託日付	営業担当者	入力担当者	期限日付	一括伝番				
000523	1	委託	00000	EFジューター	05/01/13	000	その他	555	AWアテック	05/01/27		登録(F5)
行	商品番号	地金名	品 種 名	中 石 名	数 量	原 価	掛 率	売 価				
001	-----	99910	000	ダイヤメー		0.523	120,000	100	120,000			
002	-----	99911	000	ルビメー		0.7	200,000	100	200,000			
003	WRUBL	01500	000			1	27,000	100	27,000			
004	PDABL	01535	000	Pt	プレス	ダイヤ	1	38,000	100	45,000		
005												
006												
007												
008												
009												
010												
備考					伝票計	3.223	385,000		392,000			
行	商品番号	地金名	品 種 名	中 石 名	数 量	原 価	掛 率	売 価				
001	-----	99910	000	ダイヤメー		0.523	120,000	100	120,000			
						札 値	0	05/02/15				
行削除(F7)												
伝票削除 (F8)					伝票終了 (F12)							
登録(F1)												

1. 伝票番号

登録または更新する委託伝票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
2. 取引区分

この伝票での取引を数値で入力してください。
 尚、入力値は 1 = 委託, 2 = 返品, 3 = 加工 となります。
3. 得意先名

登録する得意先について、マスタ登録されている得意先コードを入力してください。該当する得意先がある場合は隣の欄に、得意先の名称が表示されます。また、該当する得意先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
4. 委託日付

委託伝票の日を日付形式で入力してください。
5. 営業担当者、入力担当者

登録する担当者のコードをそれぞれ入力してください。
 該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。

6. 期限日付 委託期限日付を日付形式で入力してください。
7. 一括伝番 一括返品処理を行う場合、登録済みの委託伝票番号を入力してください。
8. 登録ボタン 画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。
9. 行 表示または登録する商品の伝票内での行番号を入力してください。また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。
10. 商品番号 登録する商品の商品番号を入力してください。3つの入力欄は、左から順番に「商品コード」「商品番号」「商品番号(子番)」と並んでいます。新規の行を追加する場合、商品番号を入力することで該当する商品が登録されている場合は以降の欄に商品の情報が表示されます。尚、伝票を更新する場合、すでにある行の情報は変更できません。
11. 地金名、品種名、中石名、数量、原価、札値、掛率、売価 登録する商品の各々の情報が表示されます。尚、地金名、品種名、中石名、札値は参照のみです。
12. 登録(F1)ボタン 現在、画面下部に表示されている商品を登録します。
13. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。尚、取引が返品または委託の残数がある商品が表示されている場合のみ、このボタンが使用できるようになります。また、このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



14. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



15. 伝票終了 / 終了ボタン

委託伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。
尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力
で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が
「伝票終了」に変わります。
ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の
処理を終了し、値札の印刷、伝票の印刷が可能です。
「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

※ 商品名下部の入力欄について …

明細行を表示する欄の2段目は、左から順に「仕入先名、デザイン、中石(石目)、脇石(石目)
付属石(石目)、備考、札値、商品の登録日付、引当伝票区分、引当伝票番号、引当行番号」
を表示します。尚、これらは本画面では参照のみで、この箇所での変更はできません。

※ 一括伝番について …

一括伝番は、伝票単位での委託返品処理を行う機能です。
返品対象の伝票番号を入力することにより、伝票内の返品可能な商品が返品データとして
現在表示されている伝票に登録されます。

※地金商品について …

地金商品の入力も可能です。返品時は下記の画面が表示されますので対象となる地金を選択してください。また、地金入力に関しましては“その他商品入力”にて対象商品の登録を行ってください。



The screenshot shows a software window titled "その他商品検索(委託)". It contains a table with the following data:

委託伝番	委託日付	委託先名	数量	金額
000523-001	05/01/13	02397 ジュエリー加藤	0.523	120,000.00
000523-002	05/01/13	02397 ジュエリー加藤	0.700	200,000.00

Below the table, there is a large black rectangular area. At the bottom of the window, the text "終了 (F12)" is displayed.

06 : 売上入力

売上入力

修正

売上入力

伝票番号	取引区分	得意先名		取引先区分	売上日付
000282	1 売上	00000	その他	01 特別市場	04/11/20
決済区分		展示会名	消費税区分	営業担当者	入力担当者
01 現金		00	0 外税	555 FMファテック	555 FMファテック

登録(F5)

行	商品番号	地金名	品 種 名	中 石 名	数 量	原 価	*	売 価
001	P00R 00150	000 Pt	リング*		1	18,000		24,000
002	----- 99910	000 ダイヤル-			0.523	120,000		120,000
003	WDAFR 00150	000 K18WG	ファッションリング*	ダイヤ	1	13,300		25,000
004								
005								
006								
007								
008								
009								
010								

按分合計額 計算

伝票計	2.523	151,300	169,000
消費税			8,450
合計			177,450

値引き

行	商品番号	地金名	品 種 名	中 石 名	数 量	原 価	*	売 価
002	----- 99910	000 ダイヤル-			0.523	120,000		120,000

05/02/15

行削除(F7) 登録(F1)

伝票削除 (F8) 伝票終了 (F12)

1. 伝票番号

登録または更新する売上傳票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
2. 取引区分

この伝票での取引を数値で入力してください。
 尚、入力値は 1 = 売上, 2 = 返品 となります。
3. 得意先名

登録する得意先について、マスタ登録されている得意先コードを入力してください。該当する得意先がある場合は隣の欄に、得意先の名称が表示されます。また、該当する得意先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
4. 取引先区分

登録する取引先区分について、マスタ登録されている得意先コードを入力してください。該当する区分がある場合は隣の欄に、区分の名称が表示されます。また、該当する区分がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
5. 売上日付

売上傳票の日を日付形式で入力してください。

6. 決済区分 登録する決済区分について、マスタ登録されている決済区分コードを入力してください。該当する決済区分がある場合は隣の欄に、決済区分の名称が表示されます。また、該当する区分がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
7. 展示会名 登録する展示会について、マスタ登録されている展示会コードを入力してください。該当する展示会がある場合は隣の欄に、展示会の名称が表示されます。また、該当する展示会がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
8. 消費税区分 この伝票での消費税の計算方法を数値で入力してください。尚、入力値は 0 = 外税, 1 = 非課税, 2 = 内税 となります。
9. 営業担当者、入力担当者 登録する担当者のコードを入力してください。該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
10. 登録ボタン 画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。
11. 按分合計額 按分する金額を入力してください。金額の入力後、隣の「計算」ボタンをクリックしますと合計金額に反映されます。
12. 値引き 値引きする金額を入力してください。入力後、合計金額に反映されます。
13. 行 表示または登録する商品の伝票内での行番号を入力してください。また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。
14. 商品番号 登録する商品の商品番号を入力してください。3つの入力欄は、左から順番に「商品コード」「商品番号」「商品番号（子番）」と並んでいます。新規の行を追加する場合、商品番号を入力することで該当する商品が登録されている場合は以降の欄に商品の情報が表示されます。

15. 地金名、品種名、中石名、数量、* (計算区分)、売価
登録する商品の各々の情報が表示されます。
また、* (計算区分)に 1 を入力しますと、按分計算の対象となります。
尚、地金名、品種名、中石名は参照のみです。

16. 登録(F1)ボタン 現在、画面下部に表示されている商品を登録します。

17. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



18. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、
よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は
「キャンセル」をクリックしてください。



19. 伝票終了 / 終了ボタン

売上伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。

尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力
で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が
「伝票終了」に変わります。

ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の
処理を終了し、伝票の印刷が可能です。

「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

※ 商品名下部の入力欄について …

明細行を表示する欄の2段目は、左から順に「商品の登録日付、仕入先名、デザイン、
中石(石目)、脇石(石目)、付属石(石目)、備考、引当伝票区分、引当伝票番号、
引当行番号」を表示します。

尚、これらは本画面では参照のみで、この箇所での変更はできません。

※ 計算区分について …

按分対象の商品については、本入力欄に「1」を入力してください。

また、按分対象ではない商品の場合は何も入力しないでください。

※ 地金商品について …

地金商品の入力も可能です。登録時には下記の画面が表示されますので
対象となる地金を選択してください。また、地金入力に関しましては
“その他商品入力”にて対象商品の登録を行ってください。

区分	伝票番号	伝票日付	数量	金額
自社		05/01/13	1.000	0
委託	000523-001	05/01/13	0.523	120,000
委託	000523-002	05/01/13	0.700	200,000
持出	000044-001	05/01/18	0.410	250,000
持出	000044-003	05/01/18	0.900	750,000

終了 (F12)

07 : 加工入力

加工入力											
修正											
加工入力											
伝票番号	伝票日付	加工先名			入力担当者		へり率	一括伝番		登録(F5)	
000949	05/01/24	00999	B質屋			000	その他		1.00	000523	
行	商品番号	地金名	品名	中石名	数量	渡し重量	仕上重量	へり	単価	金額	
001	99910	000	ダイヤモンド				0.523			120,000	
002	99911	000	ルビー				0.700			200,000	
003	WRUBL	01500	000			ルビー 2.000	1		27,000	27,000	
004	PDABL	01535	000	Pt	7.15	ダイヤモンド 0.090	1		38,000	38,000	
005											
006											
007											
008											
009											
010											
合計					2	0.000	0.000	0.00		385,000	
行	商品番号	地金名	中石名		数量	渡し重量	仕上重量	へり	単価	金額	
001	99910	000	-	ダイヤモンド	--			0.523		120,000	
行削除(F7)			品名	デザイン	原価	商品地金	加工書伝番		行登録(F3)		
			--		120,000						
商品番号	地金名	中石名		中石	数量	按	単価	金額	掛率	札値	
PDAR	05680	000	P Pt	DA	ダイヤモンド	0.523	1	385,000	385,000	200	770,000
在庫区分	品名	脇石名		脇石	グレード	保証書区分	保証書No	デザイン			
0	製品	R	リンク	RU	ルビー	2.700					
商品(F10)			付属石名	付属石	重量	長さ	備考1	備考2			
			DA	ダイヤモンド	0.090	0.000					
値札印刷 (F6)				伝票削除 (F8)				伝票終了 (F12)			

1. 伝票番号

登録または更新する加工伝票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
2. 伝票日付

登録する加工伝票の日を日付形式で入力してください。
3. 加工先名

登録する加工先について、マスタ登録されている加工先コードを入力してください。該当する加工先がある場合は隣の欄に、加工先の名称が表示されます。また、該当する加工先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
4. 入力担当者

登録する担当者のコードを入力してください。
 該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
5. へり率

登録する加工品のへり率を入力してください。
6. 一括伝番

委託加工する委託伝票番号を入力してください。

7. 登録(F5) ボタン 現在、画面上部に表示されている情報を登録します。
8. 行 表示または登録する商品の伝票内での行番号を入力してください。
また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。
9. 商品番号 (中央) 加工対象の商品の商品番号を入力してください。
3つの入力欄は、左から順番に「商品コード」「商品番号」「商品番号 (子番)」と並んでいます。該当する商品がある場合は以降の欄に、入力商品の情報が表示されます。また、該当するものがない場合はそれぞれ該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
尚、ここでの「商品番号」は、既存の商品の番号を入力してください。
10. 地金名、品種名、中石名、デザイン、数量、渡し重量、仕上重量、へり、単価、金額、原価、商品地金、加工書伝番 (全て中央)
加工対象の商品の各々の情報が表示されます。
尚、地金名、品種名、中石名、加工書伝番は参照のみです。
11. 行登録(F3) ボタン 現在、画面中央部に表示されている加工対象商品を登録します。
12. 商品(F10) ボタン フォーカスを在庫区分へ移動します。
13. 在庫区分 加工して新たに登録される商品の区分を入力してください。
尚、入力値は 0:製品, 1:半製品, 9:在庫管理なし
となります。また、在庫区分により商品番号の入力範囲が異なります。
0、9の場合 00001~89999 までの範囲
1の場合 90001~99899 までの範囲
14. 商品番号 (下部) 加工して、新たに登録される商品の商品番号を入力してください。
3つの入力欄は、左から順番に「商品コード」「商品番号」「商品番号 (子番)」と並んでいます。
尚、ここでの「商品番号」は、未使用の番号を入力してください。
15. 地金名 地金コードを入力してください。(1桁)
16. 品種名 品種コードを入力してください。(2桁)
17. 中石, 脇石, 付属石 それぞれ石コードを入力してください。(2桁)

18. 中石(石目), 脇石(石目), 付属石(石目)

登録する商品の各々の情報を入力してください。
小数点以下第三位まで入力できます。

19. 按分

按分処理を行うかの有無を設定します。
尚、数量が整数の場合のみ、按分処理を行うことができます。
入力値 1 : 按分

20. 保証書区分

保証書区分を入力してください。
尚、入力値は 1:鑑別, 2:鑑定, 3:ソートィング, 4:保証書,
5:保証書・ケース, 6:ケース となります。

21. 数量, 単価, 金額, 掛率, 札値, グレード,
保証書 No, デザイン, 重量, 長さ, 備考(1~3)

登録する商品の各々の情報を入力してください。
重量につきましては、小数点以下第二位まで入力できます。

22. 登録ボタン

画面下部の登録ボタンは、**画面全ての加工情報を登録します。**
また、登録することにより伝票入力終了します。

23. 値札印刷(F6)ボタン

加工入力画面を表示してから登録を行った全て商品の値札を発行します。
さらに値札印刷画面にて、加工以外の値札の登録、不要な値札の削除
などの設定を行うことが可能です。

※一度加工入力を終了しますと、値札データはクリアされます。

24. 行削除ボタン

画面中央の明細行欄に表示されている商品を現在の伝票から削除します。
このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、
よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は
「キャンセル」をクリックしてください。



25. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



26. 終了(F12)ボタン

加工伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。
また、終了時に登録データが反映されていない場合下記のメッセージが表示されます。終了する場合は、「はい(Y)」をクリックしてください。登録が必要な場合は「いいえ(N)」をクリックしてください。



08 : 分解入力

分解入力											
修正		分解入力									
伝票番号	伝票日付	商品番号	仕入日	仕入先名		入力担当者	数量	金額			
000950	05/01/26	PDAN 05679000	04/11/01	00001	仕入先A社		555	777	1	20,000	登録
行	商品番号	地金名	品種名	中石名	数量	単価	金額	掛率	札値		
001	P00N 05679	001 Pt	ネックレス		1	8,000	8,000	100	8,000		
002	0DAL 05679	002	ルース	ダイヤ	1	12,000	12,000	100	12,000		
003											
004											
005											
006											
007											
008											
009											
010											
合計					2		20,000				
					0.00		0				
行	商品番号	地金名	中石	中石	数量	単価	按	金額	掛率	札値	
003	PDAN 05679	P Pt	DA	ダイヤ					100		
在庫区分		品種名	脇石	脇石	グレード	保証書区分	保証書No	デザイン			
0	製品	N	ネックレス								
行削除(F7)			付属石	石目3	重量	長さ	備考1	備考2			
伝票削除 (F8)						伝票終了 (F12)					
登録(F1)											

1. 伝票番号

登録または更新する分解伝票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
2. 伝票日付

登録する分解伝票の日を日付形式で入力してください。
3. 商品番号(上部)

分解対象の商品の商品番号を入力してください。
 3つの入力欄は、左から順番に
 「商品コード」「商品番号」「商品番号(子番)」
 と並んでいます。該当する商品がある場合は以降の欄に、入力商品の情報が表示されます。また、該当するものがない場合はそれぞれ該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
 尚、ここでの「商品番号」は、既存の商品の番号を入力してください。
4. 仕入日、仕入先名、入力担当者、数量、金額

分解対象の商品の各々の情報が表示されます。
 尚、「入力担当者」「数量」「金額」のみ入力および変更ができます。

5. 登録ボタン 画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。
6. 行 表示または登録する商品の伝票内での行番号を入力してください。また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。
7. 商品番号（下部） 分解して、新たに登録される商品の商品番号を入力してください。3つの入力欄は、左から順番に「商品コード」「商品番号」「商品番号（子番）」と並んでいます。尚、ここでの入力につきましては、分解元となりました商品の情報が自動的に表示されます。子番のみ、分解元の番号から順に採番されます。
8. 地金名 地金コードを入力してください。（1桁）尚、分解元となりました商品の情報が自動的に表示されます。
9. 品種名 品種コードを入力してください。（2桁）尚、分解元となりました商品の情報が自動的に表示されます。
10. 中石、脇石、付属石 それぞれ石コードを入力してください。（2桁）尚、分解元となりました商品の情報が自動的に表示されます。
11. 中石(石目)、脇石(石目)、付属石(石目) 登録する商品の各々の情報を入力してください。小数点以下第三位まで入力できます。
12. 保証書区分 保証書区分を入力してください。尚、入力値は 1:鑑別, 2:鑑定, 3:ソートिंग, 4:保証書, 5:保証書・ケース, 6:ケース となります。
13. 数量, 単価, 金額, 掛率, 札値, グレード, 保証書 No, デザイン, 重量, 長さ, 備考(1~3) 登録する商品の各々の情報を入力してください。重量につきましては、小数点以下第二位まで入力できます。
14. 登録(F1)ボタン 現在、画面下部に表示されている商品を登録します。

15. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



16. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



17. 伝票終了 / 終了ボタン

分解伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。但し、分解元となった商品の金額と分解した商品の合計金額が一致していない場合、下記のようなメッセージが表示され、画面を終了できませんのでご注意ください。



尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力での伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が「伝票終了」に変わります。ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の処理を終了し値札の印刷が可能です。

「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

09 : 仕上げ入力

仕上り入力									
修正		仕上り入力							
伝票番号	仕入先名		入力担当者		伝票日付	仕入先伝番	数量	加工賃	
000335	00999	B質屋	555	アルファテック	05/01/24		5	58,000	
登録									
行	商品番号		地金名	品種名	中石名	数量	原価	重量	加工賃
001	VTPN	05621 000	SV	ネックレス	タヒパール	1	93,600	0.00	11,600
002	W00BK	01510 000	K18WG	ネックレス		1	84,610	54.10	11,600
003	00	00156 000				3	17,600	0.00	11,600
004	PJJR	00952 000	Pt	リング	ジュエライト	1	23,600	4.80	11,600
005	PDAPN	00013 000	Pt	ペンネックレス	ダイヤ	1	26,600	7.30	11,600
006									
007									
008									
009									
010									
合計						7		66.20	58,000
行	商品番号		地金名	品種名	中石	数量	原価	重量	加工賃
005	PDAPN	00013 000	Pt	ペンネックレス	ダイヤ		26,600	7.30	11,600
加工書伝番									
行削除(F7)							登録(F1)		
伝票削除 (F8)					伝票終了 (F12)				

- 1. 伝票番号** 登録または更新する仕上り伝票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
- 2. 仕入先名** 登録する仕入先について、マスタ登録されている仕入先コードを入力してください。該当する仕入先がある場合は隣の欄に、仕入先の名称が表示されます。また、該当する仕入先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
- 3. 入力担当者** 登録する担当者のコードを入力してください。該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
- 4. 伝票日付** 登録する仕上り伝票の日を日付形式で入力してください。
- 5. 仕入先伝番** 登録する仕入先の伝番を入力してください。
- 6. 数量** 仕上り数量を入力してください。

7. 加工賃 仕上げ加工賃を入力してください。
8. 登録ボタン 画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。
9. 行 登録する商品の伝票内での行番号を入力してください。
尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。
10. 商品番号 登録する商品の商品コードおよび商品番号（在庫区分により入力値が異なる）を入力してください。3つの入力欄は、左から順番に「商品コード」「商品番号」「商品番号（子番）」と並んでいます。該当する商品がある場合は以降の欄に、入力商品の情報が表示されます。また、該当するものがない場合はそれぞれ該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
11. 地金名, 品種名, 中石, 数量, 原価, 重量, 加工賃 登録する商品の各々の情報を入力してください。
重量につきましては、小数点以下第二位まで入力できます。
尚、地金名, 品種名, 中石は参照のみです。
12. 登録(F1)ボタン 画面下部の登録ボタンは、伝票の明細行（画面下部で入力する商品に関する情報1行分）を登録します。
13. 行削除(F7)ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。尚、実際に在庫のある商品が表示されている場合のみ、このボタンが使用できるようになります。
また、このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。
削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



14. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



15. 伝票終了 / 終了ボタン
仕入伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。
尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が「伝票終了」に変わります。
ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の処理を終了し、値札の印刷が可能です。
「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

10 : 商品照会

商品照会						
商品番号	05764	000	仕入日	05/01/24		
地金	P	Pt				
品種	R	リング				
中石	AL	アレキ		0.850		
脇石	DA	ダイヤ		0.300		
付属石						
仕入先	99999	仕入先名称				
モデル名						
グレード	VYL SI1 GLS892					
保証書	5	保・箱		15215078		
デザイン	立爪					
備考						
重量	15.50	長さ	0.00			
社内数	0	登録原価	480,000			
委託数	0	加工賃	0			
持出数	0	札 値	576,000			
つぶし数	0	在庫原価	0			
区分名	日付	伝票番号	名 称	数 量	金 額	
入庫履歴	仕入	05/01/24	000336-001	仕入先名称	1	480,000
最終履歴	持出売上	05/02/15	000282-001	その他	1	695,000
棚卸履歴						
委 託 (F5)		持 出 (F6)		履 歴 (F7)		加 工 (F8)
						終 了 (F12)
5						05年02月15日

1. 商品番号

照会する商品の商品番号を入力してください。

尚、同じ商品番号を持つ商品が2つ以上存在する場合、その選択画面が表示されます（下記の例図参照）。

この選択画面より、必要な商品を選択し「Enter」キーを押下する事で、選択された商品を照会することができます。

在庫商品参照						
商品番号		名称	金額	備考1	備考2	登録日付
05764	001	Ptアレキリング	480,000			05/01/26
05764	002	Ptアレキリング	480,000			05/01/26
05764	003	Ptアレキリング	480,000			05/01/26
05764	004	Ptアレキリング	480,000			05/01/26

終 了 (F12)

商品参照

2. 仕入日 ~ 在庫原価

指定した商品番号に対して、現在登録されている情報が表示されます。

3. 委託ボタン 現在画面に表示されている商品の委託状況一覧画面を表示します。

委託日付	伝票番号	委託先	数量	金額
05/01/24	000530-001	00000	1	691,200

委託状況画面

4. 持出ボタン 現在画面に表示されている商品の持出状況一覧画面を表示します。
 ※画面デザインは上記「委託状況画面」と同様です。
 尚、出力項目は「持出日付」「伝票番号」「展示会名」「数量」「金額」となっています。

5. 履歴ボタン 現在画面に表示されている商品の履歴一覧画面を表示します。

区分名	日付	伝票番号	名称	数量	金額
持出売上	05/01/24	000288-001	その他	1	695,000
持出	05/01/24	000049-001	IJT東京	1	695,000
委託返品	05/01/24	000531-001	その他	-1	-691,200
委託	05/01/24	000530-001	その他	1	691,200

履歴照会画面

6. 加工ボタン 現在画面に表示されている商品の加工状況一覧画面を表示します。
 ※画面デザインは上記「委託状況画面」と同様です。
 尚、出力項目は「日付」「伝票番号」「商品番号」「商品名」「数量」「金額」となっています。

※ 商品の画像について …

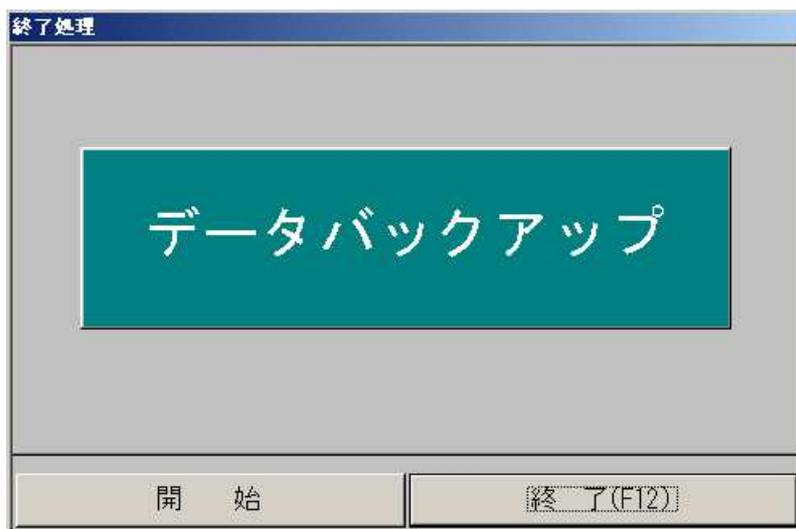
商品の画像（写真）を登録しますと、サンプル画面右上部に表示されます。

※ 画面下部の商品の履歴について …

画面下部に商品の履歴が表示される欄があります。上から順に
 商品の入庫の履歴、商品の現在の状況、棚卸しの履歴と並んでいます。
 尚、「棚卸履歴」につきましては、棚卸しを行っていない場合は空欄となっています。

	区分名	日付	伝票番号	名称	数量	金額
入庫履歴	仕入	05/01/24	000351-001	隣仕入先名称	1	480,000
最終履歴	持出売上	05/01/24	000288-001	その他	1	695,000
棚卸履歴						

履歴部分



1. 開始ボタン 現在までのデータのバックアップ処理を実行します。
尚、本ボタンをクリックする前に MO ディスクが挿入されているか確認してください。
2. 終了(F12)ボタン メインメニューに戻ります。

2) 値札印刷メニュー

… 値札印刷に関する処理のあるメニューです。

値札印刷メニュー	
01: 仕入入力	30: 日次帳票
02: 商品変更	40: 随時帳票
04: 展示会持出入力	42: 月次帳票
05: 委託入力	44: 売掛・買掛帳票
06: 売上入力	50: 棚卸処理
07: 加工入力	60: 更新処理
08: 分解入力	70: マスタ登録
09: 仕上り入力	80: 地金在庫
10: 商品照会	90: バックアップ
20: 値札印刷	99: システム終了

201: 値札印刷
202: 値札印刷(再発行)
203: 札値変更入力
204: 商品コード印刷
205: DMシール印刷

処理No

1. 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 201: 値札印刷 | 各商品の値札を印刷します。 |
| 202: 値札印刷(再発行) | 各商品の値札を再発行します。 |
| 203: 札値変更入力 | 商品の札値を変更します。 |
| 204: 商品コード印刷 | 指定した商品のバーコードを印刷します。 |
| 205: DMシール印刷 | ダイレクトメール用宛名シール印刷をします。 |

201 : 値札印刷

値 札 印 刷									
範 囲 指 定									
範囲区分	1:商品番号 2:委託伝票 3:持出伝票								
種 類	1:通常, 2:展示会, 3:小札, 4:通常(旧)								
展示会名									
商品番号	00000	-	000	~	1	商品入力			
					99999	-	999		
年 度	2004								
登録日付	00/00/00				~	99/99/99			
伝票番号	000000	-	0	~	999999	-	999		
印 刷 設 定									
印刷枚数	001								
開始場所	01	-	01						
印 刷 (F1)	プレビュー (F5)			終 了 (F12)					

1. 範囲区分

登録または更新する仕入伝票の伝票番号を入力してください。
尚、入力値は 1 : 商品番号、2 : 委託伝票、3 : 持出伝票 となります。
2. 種類

印刷する値札の種類を入力してください。
尚、入力値は 1 : 通常、2 : 展示会、3 : 小札、4 : 通常(旧) となります。
3. 展示会名

印刷する展示会について、マスタ登録されている展示会コードを入力してください。該当する展示会がある場合は隣の欄に、展示会の名称が表示されます。また、該当する展示会がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
尚、種類選択時、2を入力された場合、設定が可能になります。
4. 商品番号

印刷する「商品番号」「商品番号(子番)」を「上限」「下限」で指定してください。
尚、1件の場合は両項目同じ番号を入力してください。
また、範囲区分選択時、1を入力された場合、設定が可能になります。
5. 年度

対象とする値札の作成年度(西暦で4桁)を指定してください。

6. 登録日付 登録日付を「上限」「下限」で指定してください。
尚、1件の場合は両項目同じ番号を入力してください。
また、範囲区分選択時、1を入力された場合、設定が可能になります。
7. 伝票番号 伝票番号及び行番号を「上限」「下限」で指定してください。
尚、1件の場合は両項目同じ番号を入力してください。
また、範囲区分選択時、2又は3を入力された場合、
設定が可能になります。
8. 印刷枚数 印刷枚数を入力してください。
9. 開始場所 値札の印刷開始位置を指定します。
尚、左側が用紙の「行」数、右側が用紙「列」数を表しています。
10. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する値札を印刷します。
11. プレビュー(F5)ボタン
範囲指定で入力された値に該当する値札の印刷プレビュー画面を
表示します。
12. 終了(F12)ボタン 値札印刷メニューに戻ります。

202：値札印刷(再発行)

値札印刷(再発行)

種類 1 1:通常, 2:展示会, 3:小札, 4:通常(旧) 展示会名 開始場所 01 - 01

行	商品番号	地金名	品 種 名	石 名 1	中石	脇石	付属石	金 額	枚 数
1	PDAR 00150 000	P t	リング	ダイヤモンド	1.01			340,000	1
2	PDASN 00950 000	P t	フチネックレス	ダイヤモンド	0.30			0	1
3	WKOP 05800 000	K18WG	ペン	さんご	21.55	0.10		260,000	1
4	PDAPN 00843 000	P t	ペンネックレス	ダイヤモンド	0.20			0	1
5	WRUPR 00854 000	K18WG	ピアス	ルビー	0.17	0.24		0	1
6	PALR 05764 000	P t	リング	ルキ	0.85	0.30		576,000	1

行	商品番号	地金名	品 種 名	石 名 1	中石	脇石	付属石	金 額	枚 数
3	PALR - 05764 - 000	P t	リング	ルキ	0.850	0.300		576,000	1

行削除(F8) 登録

印刷 (F1) プレビュー (F5) 全削除 (F9) 終了 (F12)

1. 種類 印刷する値札の種類を入力してください。
尚、入力値は 1：通常、2：展示会、3：小札、4：通常(旧)となります。
2. 展示会名 印刷する展示会について、マスタ登録されている展示会コードを入力してください。該当する展示会がある場合は隣の欄に、展示会の名称が表示されます。また、該当する展示会がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
尚、種類選択時、2を入力された場合、設定が可能になります。
3. 開始場所 値札の印刷開始位置を指定します。
尚、左側が用紙の「行」数、右側が用紙「列」数を表示しています。
4. 行 再発行する行番号を入力してください。
5. 商品番号 再発行する商品コードおよび商品番号を入力してください。
3つの入力欄は、左から順番に
「商品コード」「商品番号」「商品番号(子番)」
と並んでいます。該当する商品がある場合は以降の欄に、入力商品の情報が表示されます。また、該当するものがない場合はそれぞれ該当なしを伝えるメッセージが表示されます。

6. 地金名, 品種名, 中石, 中石(石目), 脇石(石目),
付属石(石目), 金額, 枚数
登録する商品の各々の情報を入力してください。
石目は小数点以下第三位まで入力できます。
枚数には印刷を行う枚数を入力してください。
7. 登録ボタン 現在、画面下部に表示されている商品を登録します。
8. 行削除(F8)ボタン
画面下部の明細行欄に表示されている商品を削除します。
9. 印刷(F1)ボタン 現在画面に表示されている商品の値札を印刷します。
10. プレビュー(F5)ボタン
現在画面に表示されている商品の値札を印刷プレビューします。
11. 全削除(F9)ボタン
現在登録されている全ての商品を削除します。
12. 終了(F12)ボタン
値札印刷メニューに戻ります。

203 : 札値変更入力

札値変更入力						
札 値 変 更 入 力						
商品番号	数量	単 価	金 額	掛率	札 値	
00111	000	1	0	57,450	0	280,000
00150	000	1	0	78,450	0	340,000
00160	000	24	0	345,600	120	345,600
00208	000	1	0	13,500	0	13,800
00242	000	1	0	19,800	120	28,000
商品番号	数量	単 価	金 額	掛率	札 値	
00242	000	1	0	19,800	120	28,000
登 録 (F1)		値札印刷 (F5)		終 了 (F12)		

1. 商品番号

札値を変更する商品番号を入力してください。
 2つの入力欄は、左から順番に
 「商品番号」「商品番号（子番）」
 と並んでいます。該当する商品がある場合は以降の欄に、入力商品の
 情報が表示されます。また、該当するものがない場合はそれぞれ
 該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
2. 数量, 単価, 金額, 掛率, 札値

対象商品の情報が表示されます。
 尚、数量、単価、金額は参照のみです。
3. 登録(F1)ボタン

画面下部に表示されている商品の掛率、札値を登録します。
4. 値札印刷(F5)ボタン

値札変更入力画面を表示してから変更を行った全て商品の値札を
 発行します。さらに値札印刷画面にて、値札変更入力以外の値札の
 登録、不要な値札の削除などの変更を行うことが可能です。
※一度値札変更入力を終了しますと、値札データはクリアされます。
5. 終了(F12)ボタン

値札印刷メニューに戻ります。

DMシール印刷			
DMシール印刷			
範囲指定			
出力区分	1	1:得意先, 2:仕入先, 3:顧客	
コード	00000	~	99999
検索コード*		~	
出力種類	1	1:ラベル, 2:2X6, 3:2X7, 4:ヤマト	
開始位置	1	-	1
印刷枚数	1		
条件設定			

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)



1. 出力区分 出力するシールの種類を数値で指定します。
尚、入力値は 1 = 得意先, 2 = 仕入先, 3 = 顧客 となります。
2. コード 出力するコードを「下限」「上限」と指定します。
尚、コードは出力区分で指定した種類を対象としています。
また、出力対象が同一の場合、両項目に同じコードを入力してください。
3. 検索コード 出力する検索コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、コードは出力区分で指定した種類を対象としています。
また、出力対象が同一の場合、両項目に同じ検索コードを入力してください。
4. 出力種類 出力するシールの用紙を数値で指定します。
尚、入力値は 1 = ラベル, 2 = 2×6, 3 = 2×7, 4 = ヤマト となります。
5. 開始位置 シールラベルの印刷開始位置を指定します。
尚、左側が用紙の「行」数, 右側が用紙「列」数を表しています。
6. 印刷枚数 出力枚数を指定します。
7. 条件設定 出力する条件設定コードを指定します。
8. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する DM シールを印刷します。

9. プレビュー(F5)ボタン

範囲指定で入力された値に該当する DM シールの
印刷プレビュー画面を表示します。

10. 終了(F12)ボタン

マスタ登録メニューに戻ります。

3) 日次帳票メニュー

… 日報など、主に日にち毎に使用する帳票の処理のあるメニューです。

日次帳票メニュー	
01: 仕入入力	30: 日次帳票
02: 商品変更	40: 随時帳票
04: 展示会持出入力	42: 月次帳票
05: 委託入力	44: 売掛・買掛帳票
06: 売上入力	50: 棚卸処理
07: 加工入力	60: 更新処理
08: 分解入力	70: マスタ登録
09: 仕上り入力	80: 地金在庫
10: 商品照会	90: バックアップ
20: 値札印刷	99: システム終了

311: 仕入日報
312: 売上日報
313: 振替伝票出力
315: 加工リスト
316: 分解リスト
317: 在庫調整リスト
318: 展示会持出一覧

処理No

1. 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

311: 仕入日報	仕入に関する日報を出力します。
312: 売上日報	売上に関する日報を出力します。
313: 振替伝票出力	振替伝票を出力します。
315: 加工入力リスト	加工を行った商品及び伝票の帳票を出力します。
316: 分解入力リスト	分解を行った商品及び伝票の帳票を出力します。
317: 在庫調整リスト	在庫調整を行った商品及び伝票の一覧表を出力します。
318: 展示会持出一覧	展示会持出となっている商品及び伝票の一覧表を出力します。

311 : 仕入日報

範囲指定			
伝票番号	000000	~	999999
伝票日付	04/10/01	~	04/12/31

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

1. 伝票番号 帳票に出力する範囲の伝票番号を「下限」「上限」で指定します。
尚、出力対象が1件の場合、両項目に同じ番号を入力してください。
2. 伝票日付 帳票に出力する範囲の伝票日付を、日付形式で「下限」「上限」と
指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
3. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する仕入の日報を印刷します。
4. プレビュー(F5)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する仕入日報の印刷プレビュー画面を
表示します。
5. 終了(F12)ボタン 日次帳票メニューへ戻ります。

売上日報

売上日報

範囲指定			
伝票番号	000000	~	999999
伝票日付	04/10/01	~	04/12/31
展示会	00	~	99

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

1. 伝票番号 帳票に出力する範囲の伝票番号を「下限」「上限」で指定します。尚、出力対象が1件の場合、両項目に同じ番号を入力してください。
2. 伝票日付 帳票に出力する範囲の伝票日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
3. 展示会 帳票に出力する範囲の展示会を、マスタに登録されている展示会コードで「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一展示会の場合、両項目に同じ展示会コードを入力してください。
4. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する売上の日報を印刷します。
5. プレビュー(F5)ボタン
 範囲指定で入力された値に該当する売上日報の印刷プレビュー画面を表示します。
6. 終了(F12)ボタン 日次帳票メニューへ戻ります。

313 : 振替伝票出力

範囲指定		
売上日付	05/02/01	
営業担当	000	~ 999

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

1. 売上日付 帳票に出力する売上日付を指定します。
2. 営業担当 帳票に出力する範囲の担当者を、マスタに登録されている担当者コードで「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一担当者の場合、両項目に同じ担当者コードを入力してください。
3. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する振替伝票を印刷します。
4. プレビュー(F5)ボタン
 範囲指定で入力された値に該当する振替伝票の印刷プレビュー画面を表示します。
5. 終了(F12)ボタン 日次帳票メニューへ戻ります。

315 : 加工入力リスト

範囲指定			
伝票番号	000000	~	999999
伝票日付	04/10/01	~	04/12/31

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

1. 伝票番号 帳票に出力する範囲の伝票番号を「下限」「上限」で指定します。
尚、出力対象が1件の場合、両項目に同じ番号を入力してください。
2. 伝票日付 帳票に出力する範囲の伝票日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
3. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する加工リストを印刷します。
4. プレビュー(F5)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する加工リストの印刷プレビュー画面を表示します。
5. 終了(F12)ボタン 日次帳票メニューへ戻ります。

316 : 分解入力リスト

範囲指定			
伝票番号	000000	~	999999
伝票日付	03/11/01	~	03/11/30

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

1. 伝票番号 帳票に出力する範囲の伝票番号を「下限」「上限」で指定します。
尚、出力対象が1件の場合、両項目に同じ番号を入力してください。
2. 伝票日付 帳票に出力する範囲の伝票日付を、日付形式で「下限」「上限」と
指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
3. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する分解リストを印刷します。
4. プレビュー(F5)ボタン
 範囲指定で入力された値に該当する分解リストの印刷プレビュー画面を
 表示します。
5. 終了(F12)ボタン 日次帳票メニューへ戻ります。

317 : 在庫調整リスト

在庫調整一覧

在庫調整一覧

範囲指定			
伝票番号	000000	~	999999
伝票日付	03/11/01	~	03/11/30

印 刷 (F1) プレビュー (F5) 終 了 (F12)



1. 伝票番号 帳票に出力する範囲の伝票番号を「下限」「上限」で指定します。
尚、出力対象が1件の場合、両項目に同じ番号を入力してください。
2. 伝票日付 帳票に出力する範囲の伝票日付を、日付形式で「下限」「上限」と
指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
3. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する在庫調整一覧を印刷します。
4. プレビュー(F5)ボタン
 範囲指定で入力された値に該当する在庫調整一覧の
 印刷プレビュー画面を表示します。
5. 終了(F12)ボタン 日次帳票メニューへ戻ります。

4) 随時帳票メニュー

… 在庫売上の状況など、主に随時使用する帳票の処理のあるメニューです。

随時帳票メニュー	
01: 仕入入力	30: 日次帳票
02: 商品変更	40: 随時帳票
04: 展示会持出入力	42: 月次帳票
05: 委託入力	44: 売掛・買掛帳票
06: 売上入力	50: 棚卸処理
07: 加工入力	60: 更新処理
08: 分解入力	70: マスタ登録
09: 仕上り入力	80: 地金在庫
10: 商品照会	90: バックアップ
20: 値札印刷	99: システム終了

401: 売上集計表
402: 仕入集計表
403: 得意先管理表
404: 仕入先管理表

407: 在庫状況照会
408: 売上状況照会

409: 商品台帳

処理No

1. 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

401: 売上集計表	売上の集計結果一覧を画面に表示し必要に応じて出力します。
402: 仕入集計表	仕入の集計結果一覧を画面に表示し必要に応じて出力します。
403: 得意先管理表	得意先ごとの取引の管理表を出力します。
404: 仕入先管理表	仕入先ごとの取引の管理表を出力します。
407: 在庫状況照会	現在の在庫商品の一覧表を画面に表示し必要に応じて出力します。
408: 売上状況照会	現在の売上の一覧表を画面に表示し必要に応じて出力します。
409: 商品台帳	現在の商品情報を出力します。

401 : 売上集計表

売上集計表(月別)

05 年 01 月度

売上集計表

日付	売上数	売上額	粗 利	率	累計売上数	累計売上額	累計粗利	率	
18	1	62,000	23,700	38.2	1	62,000	23,700	38.2	
19	2	260,000	70,000	26.9	3	322,000	93,700	29.1	
24	2	755,000	245,000	32.5	5	1,077,000	338,700	31.4	
前半	0	0	0		後半	5	1,077,000	338,700	

作 表 (F1) 前 月 (F5) 次 月 (F6) 戻 る (F10) 終 了 (F12)

05年01月24日

1. 年月 画面に表示する売上集計表の対象となる年月を指定します。
入力後「Enter」キーを押すと、画面中央のリストに入力された年月の売上集計表が表示されます。尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
2. 作表ボタン 現在画面に表示されている売上集計表を印刷します。
3. 前月ボタン 現在画面に表示されている売上集計表の前の月の集計表を表示します。
4. 次月ボタン 現在画面に表示されている売上集計表の次の月の集計表を表示します。
5. 戻るボタン 画面の売上集計表の日付にカーソル（キーボードで操作できる位置）がある場合、「年」の入力欄にカーソルを移動します。
6. 終了(F12)ボタン 随時帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に集計表が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、売上集計表では、

年月を入力

↓

売上集計表

↓ （画面中央のリストにある「日付」を選択し、Enter）

売上日報（日別）

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

売上日報（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

401-1 : 売上日報 (日別)

売上集計表(日別)

05 年 01 月 19 日

売上集計表

伝票番号	得意先名	数量	売上額	粗利	粗利率
000285	00000 その他	2	260,000	70,000	26.9
合 計		2	260,000	70,000	26.9

伝票番号

作 表 (F1) 前 日 (F5) 翌 日 (F6) 終 了 (F12)

05年01月24日

1. 年月日 月別画面で選択された日付が表示されます。
また、この「年月日」は変更できます。
変更した場合、「Enter」キーを押すと、画面中央のリストに入力された年月日の売上集計表（日別）が表示されます。
2. 作表ボタン 現在画面に表示されている売上集計表を印刷します。
3. 前日ボタン 現在画面に表示されている売上集計表の前の日の集計表を表示します。
4. 次日ボタン 現在画面に表示されている売上集計表の次の日の集計表を表示します。
5. 終了(F12)ボタン 一つ前の画面である売上集計表（月別）へ戻ります。

401-2 : 売上日報 (伝票番号別)

売上集計表(伝票番号別)

売上集計表

伝票日付: 05/01/19 伝票番号: 000285 得意先: 00000 その他

行番	商品番号	商品名	仕入先名	仕入日	原価	数量	金額	粗率
001	99910-000	ダイヤメー		05/01/13	70,000	0.7	100,000	30.0
002	99910-000	ダイヤメー		05/01/13	50,000	0.52	70,000	28.6
003	99910-000	ダイヤメー		05/01/13	70,000	0.8	90,000	22.2
合 計					190,000	2.02	260,000	26.9

行番

終 了 (F12)

05年01月24日

1. 終了(F12)ボタン

一つ前の画面である売上集計表 (日別) へ戻ります。

402 : 仕入集計表

仕入集計表(月別)

05 年 01 月度

仕入集計表

日付	当月数量	当月仕入	当月返品	累計数量	累計仕入	累計返品
07	1	245,000	0	1	245,000	0
11	6	302,200	0	7	547,200	0
13	3	2,721	0	10	549,921	0
14	4	347,802	0	14	897,723	0
24	7	818,000	0	21	1,715,723	0

前/後 14.000 897,723 0 7.000 818,000 0

日付

作 表 (F1) 前 月 (F5) 次 月 (F6) 戻 る (F10) 終 了 (F12)

05年01月24日

1. 年月

画面に表示する仕入集計表の対象となる年月を指定します。
 入力後「Enter」キーを押すと、画面中央のリストに入力された年月の仕入集計表が表示されます。
 尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
2. 作表ボタン

現在画面に表示されている仕入集計表を印刷します。
3. 前月ボタン

現在画面に表示されている仕入集計表の前の月の集計表を表示します。
4. 次月ボタン

現在画面に表示されている仕入集計表の次の月の集計表を表示します。
5. 戻るボタン

画面の仕入集計表の日付にカーソル（キーボードで操作できる位置）がある場合、「年」の入力欄にカーソルを移動します。
6. 終了(F12)ボタン

随時帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に集計表が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、仕入集計表では、

年月を入力

↓

仕入集計表

↓ （画面中央のリストにある「日付」を選択し、Enter）

仕入日報（日別）

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

仕入日報（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

402-1 : 仕入日報 (日別)

仕入集計表(日別)

05 年 01 月 24 日 仕入集計表

伝票番号	仕入先名	数量	仕入金額	返品金額
000349	99999 梯仕入先名称	1	280,000	0
000350	99999 梯仕入先名称	5	58,000	0
000351	99999 梯仕入先名称	1	480,000	0
合 計		7	818,000	0

伝票番号

作 表 (F1) 前 日 (F5) 翌 日 (F6) 終 了 (F12)

 05年01月24日

1. 年月日 月別画面で選択された日付が表示されます。
また、この「年月日」は変更できます。
変更した場合、「Enter」キーを押すと、画面中央のリストに入力された年月日の仕入集計表（日別）が表示されます。
2. 作表(F1)ボタン 現在画面に表示されている仕入集計表を印刷します。
3. 前日(F5)ボタン 現在画面に表示されている仕入集計表の前の日の集計表を表示します。
4. 次日(F6)ボタン 現在画面に表示されている仕入集計表の次の日の集計表を表示します。
5. 終了(F12)ボタン 一つ前の画面である仕入集計表（月別）へ戻ります。

402-2 : 仕入日報 (伝票番号別)

仕入集計表(伝票番号別)

仕入集計表

伝票日付: 05/01/24 伝票番号: 000351 仕入先: 99999 (欄)仕入先名称

行番	商品番号	商品名	数量	金額
001	PALR-05764-000	Pt アレキ リンク*	1	480,000
合 計			1	480,000

行番

終 了 (F12)

 05年01月24日

1. 終了(F12)ボタン

一つ前の画面である仕入集計表 (日別) へ戻ります。

403 : 得意先管理表

得意先管理表													
05 年度		得意先: 00000		その他		区分: 1		売上実績 (1月)		実行			
月	月 計						累 計						
	売上数	当月金額	前期率	粗 利	前期率	粗利率	売上数	売上金額	前期率	粗 利	前期率	粗利率	
01月	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
02月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
03月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
04月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
05月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
06月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
07月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
08月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
09月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
10月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	0.0	315,000	0.0	31.0	
11月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	750.9	315,000	131.2	31.0	
12月	0	0	0.0	0	0.0	0.0	4	1,015,000	303.3	315,000	405.5	31.0	

作 表 (F1) 戻 る (F10) 終 了 (F12)

05年01月24日

1. 年度 画面に表示する得意先管理表の対象となる年度を指定します。
尚、西暦の下二桁を入力してください。
2. 得意先 画面に表示する得意先について、マスタ登録されている得意先コードを指定します。該当する得意先がある場合は隣の欄に、得意先の名称が表示されます。また、該当する得意先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
3. 区分 画面に表示する得意先管理表の実績計算開始月を数値で指定します。
尚、入力値は 1 = 売上実績 (1月), 2 = 売上実績 (3月) となります。
4. 実行ボタン 画面中央のリストに対象の管理表が表示されます。
5. 作表(F1)ボタン 現在画面に表示されている得意先管理表を印刷します。
6. 戻る(F10)ボタン 画面の得意先管理表の日付にカーソル (キーボードで操作できる位置) がある場合、「年度」の入力欄にカーソルを移動します。

7. 終了(F12)ボタン

随時帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に管理表が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、得意先管理表では、

年度、得意先、区分を入力

↓

得意先管理表

↓ （画面中央のリストにある「月」を選択し、Enter）

得意先別売上月報

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

売上日報（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

403-1 : 得意先別売上月報

得意先別売上月報				
得意先: 00000 その他				
伝票日付	伝票番号	売上額	粗利	粗利率
05/01/19	000285	260,000	70,000	26.9
05/01/24	000286	60,000	30,000	50.0
05/01/24	000288	695,000	215,000	30.9
合 計		1,015,000	315,000	31.0

伝票番号

終 了 (F12)

05年01月24日

1. 終了(F12)ボタン

一つ前の画面である得意先管理表へ戻ります。

404 : 仕入先管理表

仕入先管理表								
05	年度	仕入先: 99999	欄仕入先名称	区分: 1	仕入実績 (1月)	実行		
月	月 計				累 計			
	仕入数	仕入金額	返品数	返品金額	仕入数	仕入金額	返品数	返品金額
01月	5	58,000	0	0	5	58,000	0	0
02月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
03月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
04月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
05月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
06月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
07月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
08月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
09月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
10月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
11月	0	0	0	0	5	58,000	0	0
12月	0	0	0	0	5	58,000	0	0

作 表 (F1) 戻 る (F10) 終 了 (F12)

05年01月24日

1. 年度 画面に表示する仕入先管理表の対象となる年度を指定します。
尚、西暦の下二桁を入力してください。
2. 仕入先 画面に表示する仕入先について、マスタ登録されている仕入先コードを指定します。該当する仕入先がある場合は隣の欄に、仕入先の名称が表示されます。また、該当する仕入先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
3. 区分 画面に表示する仕入先管理表の実績計算開始月を数値で指定します。
尚、入力値は 1 = 仕入実績 (1月), 2 = 仕入実績 (3月) となります。
4. 実行ボタン 画面中央のリストに対象の管理表が表示されます。
5. 作表(F1)ボタン 現在画面に表示されている仕入先管理表を印刷します。
6. 戻る(F10)ボタン 画面の仕入先管理表の日付にカーソル (キーボードで操作できる位置) がある場合、「年度」の入力欄にカーソルを移動します。

7. 終了(F12)ボタン

随時帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に管理表が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、仕入先管理表では、

年度、仕入先、区分を入力

↓

仕入先管理表

↓ （画面中央のリストにある「月」を選択し、Enter）

仕入先別仕入月報

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

仕入日報（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

404-1 : 仕入先別売上月報

仕入先別仕入月報						
仕入先: 99999 欄仕入先名称						
伝票日付	伝票番号	仕入数	仕入額	返品数	返品額	合計額
05/01/24	000349	1	280,000	0	0	280,000
05/01/24	000350	5	58,000	0	0	58,000
05/01/24	000351	1	480,000	0	0	480,000
合 計		7	818,000	0	0	818,000

伝票番号

終 了 (F12)

05年01月24日

1. 終了(F12)ボタン

一つ前の画面である仕入先管理表へ戻ります。

407：在庫状況照会

在庫状況照会			
範囲指定			
商品番号	00000	~	99999
仕入日	04/10/01	~	04/12/31
仕入先	00000	~	99999
原価	0	~	99,999,999
地金	0	~	Z
石	0	~	ZZ
石区分	0	~	Z
品種	0	~	ZZ
中石	0.010	~	0.800
グレード		~	
デザイン		~	
保証書No		~	
仕入先名			

実行 (F1) 終了 (F12)

1. 商品番号 照会する範囲の商品番号を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の商品番号の場合、両項目に同じ商品番号を入力してください。

2. 仕入日 照会する範囲の仕入日を日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。

3. 仕入先 照会する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の仕入先の場合、両項目に同じ仕入先コードを入力してください。

4. 原価 照会する範囲の原価を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の原価の場合、両項目に同じ原価値を入力してください。

5. 地金 照会する範囲の地金を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の地金の場合、両項目に同じ地金を入力してください。

6. 石 照会する範囲の石を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の石の場合、両項目に同じ石を入力してください。

7. 石区分 照会する範囲の石区分を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の石区分の場合、両項目に同じ石区分を入力してください。
8. 品種 照会する範囲の品種を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の種類の場合、両項目に同じ品種を入力してください。
9. 中石 照会する範囲の中石(石目)を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の中石(石目)の場合、両項目に同じ中石(石目)を入力してください。
10. グレード 照会する範囲のグレードを「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一のグレードの場合、両項目に同じグレードを入力してください。
11. デザイン 照会する範囲のデザインを「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一のデザインの場合、両項目に同じデザインを入力してください。
12. 保証書 No 照会する範囲の保証書 No を「下限」「上限」と指定します。
13. 仕入先名 照会する範囲の仕入先名（部分的な名称での検索可能）を指定します。
14. 実行(F1)ボタン 現在の照会条件で在庫状況を表示実行します。
15. 終了(F12)ボタン 在庫状況照会を終了し、随時帳票メニューに戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に在庫状況照会表が表示されている場合、商品照会を表示することができます。

尚、在庫状況照会では、

在庫状況照会の検索範囲指定を入力

↓

在庫状況照会表

↓ （画面左のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

407-1 : 在庫状況照会表

在庫状況照会								
商品番号	仕入日	仕入先名	商品名		中石	備考	数量	原価
89999	05/01/12		00099	加工			1	18,000
05682	05/01/07	B宝石	PALR	Pt アレキ リンク	1.050		1	582,000
05683	05/01/07	B宝石	KDAR	K18 タイヤ リンク	0.500		1	245,000
05685	05/01/11	B宝石	10101	Pt/K14WG ROLEX パーツ	1.000		1	248,000
05690-1	05/01/11	B宝石	00000	その他			1	5,000
05690-3	05/01/11	B宝石	00000	その他			1	5,000
05710	05/01/13	B宝石	10101	Pt/K14WG ROLEX パーツ			1	1
05711	05/01/13	B宝石	00000	その他			1	120
05712	05/01/14	B宝石	PDAR	Pt タイヤ リンク	0.500		1	237,999
05760	05/01/14	B宝石	10101	Pt/K14WG ROLEX パーツ	1.000		1	1
05761	05/01/14	B宝石	10101	Pt/K14WG ROLEX パーツ	1.000		2	2
05763-1	05/01/24	欄仕入先名称	10000	Pt/K14WG その他			1	100,000
05763-2	05/01/24	欄仕入先名称	00100	ROLEX その他			1	180,000
89998	05/01/11	B宝石	00094	送料	1.000		1	1,800
90531	05/01/14	B宝石	CDA00	K18Pt タイヤ その他	0.270		1	109,800
合 計							16	1,732,723

終 了 (F12)

05年01月24日

1. 終了(F12)ボタン

一つ前の画面である在庫状況照会へ戻ります。

408 : 売上状況照会

売上状況照会			
範囲指定			
商品番号	00000	~	99999
仕入日	04/10/01	~	04/12/31
仕入先	00000	~	99999
原 価	0	~	99,999,999
地 金	A	~	Z
石	AA	~	ZZ
品 種	AA	~	ZZ
中 石	0.010	~	0.200
売 上 日	04/10/01	~	04/12/31
得 意 先	00000	~	99999
売 価	0	~	99,999,999
保証書No		~	
得意先名			

実行 (F1) 終了 (F12)

1. 商品番号 照会する範囲の商品番号を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の商品番号の場合、両項目に同じ商品番号を入力してください。

2. 仕入日 照会する範囲の仕入日を日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。

3. 仕入先 照会する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の仕入先の場合、両項目に同じ仕入先コードを入力してください。

4. 原価 照会する範囲の原価を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の原価の場合、両項目に同じ原価値を入力してください。

5. 地金 照会する範囲の地金を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の地金の場合、両項目に同じ地金を入力してください。

6. 石 照会する範囲の石を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の石の場合、両項目に同じ石を入力してください。

7. 種類 照会する範囲の種類を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の種類の場合、両項目に同じ種類を入力してください。
8. 中石 照会する範囲の石目を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の石目の場合、両項目に同じ石目を入力してください。
9. 売上日 照会する範囲の売上日を日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
10. 得意先 照会する範囲の得意先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の得意先の場合、両項目に同じ得意先コードを入力してください。
11. 売価 照会する範囲の売値を「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一のデザインの場合、両項目に同じデザインを入力してください。
12. 保証書 No 照会する範囲の保証書 No を「下限」「上限」と指定します。
13. 得意先名 照会する範囲の得意先名（部分的な名称での検索可能）を指定します。
14. 実行(F1)ボタン 現在の照会条件で売上状況を表示実行します。
15. 終了(F12)ボタン 売上状況照会を終了し、随時帳票メニューに戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に売上状況照会表が表示されている場合、商品照会を表示することができます。

尚、売上状況照会では、

売上状況照会の検索範囲指定を入力

↓

売上状況照会表

↓ （画面左のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

408-1 : 売上状況照会表

売上状況照会										
売上日	商品番号	仕入日	仕入先名	商品名	中石	数量	原価	売価	得意先名	
05/01/19	99910	05/01/13		ダイアル		1	70,000	90,000	その他	
05/01/19	99910	05/01/13		ダイアル		1	50,000	70,000	その他	
05/01/19	99910	05/01/13		ダイアル		1	70,000	100,000	その他	
05/01/24	05764	05/01/24	(株)仕入先名称	PALR Pet アキ リンク	0.850	1	480,000	695,000	その他	
合 計						3	670,000	955,000		

終了 (F12)

05年01月24日

1. 終了(F12)ボタン

一つ前の画面である売上状況照会へ戻ります。

409-1: 商品台帳結果

商品台帳										
04年度										
商品番号	仕入日付	商品名	仕入先	数量	入庫金額	出庫日付	出庫情報	出庫先	数量	出庫金額
00469	04/10/05		鍍金B	1	5,500	04/11/17	売上	Fジューリー	1	6,500
01101	04/10/22		鍍金B	1	24,000					
01218	04/10/26		A宝石	1	13,000					
01219	04/10/26		A宝石	1	15,000					
01221	04/10/26		A宝石	1	16,000					
02507	04/11/06	P t タイヤ ネックレス	加工C	1	28,180					
02559	04/11/07	K18WG タイヤ ネックレス	加工C	1	250,000	04/11/15	売上	Fジューリー	1	275,000
02568	04/11/07	K18 タイヤ ネックレス	加工C	1	55,000					
02578	04/11/07	K18WG タイヤ ネックレス	加工C	1	360,000	04/11/19	加工出庫	E時計	-1	-360,000
02784	04/11/12	K18 タイヤ ネックレス	鍍金B	1	26,000					
02796	04/11/12	K18WG タイヤ ネックレス	鍍金B	1	95,000	04/11/26	加工出庫	Fジューリー	-1	-95,000
03878	04/11/24	K18 タイヤ ネックレス	鍍金B	1	36,000	04/11/27	加工出庫		-1	-36,000
04029	04/11/26	K18WG タイヤ ネ	鍍金B	1	96,000					
04135	04/11/28	K18WG タイヤ ネックレス	加工C	1	260,000					
04521	04/12/02	K18WG タイヤ ネックレス	鍍金B	1	90,000	04/12/13	加工出庫	E時計	-1	-90,000
04533	04/12/02	K18 タイヤ ネックレス	鍍金B	0	38,000					
04691	04/12/01	P t タイヤ ネックレス	加工C	1	600,000					
04721	04/11/27	K18 タイヤ ネック	加工C	1	39,000					
04925	04/12/07	P t タイヤ ネックレス	ジューリー-D	1	480,000					
04927	04/12/07	P t タイヤ ネックレス	ジューリー-D	1	170,000					
合計				23	3,191,680					

終了 (F12)

1. 終了(F12)ボタン 一つ前の画面である商品台帳へ戻ります。

5) 月次帳票メニュー

… 得意先、仕入先、展示会別など、主に月ごとに使用する帳票の処理のあるメニューです。

月次帳票メニュー	
01: 仕入入力	30: 日次帳票
02: 商品変更	40: 随時帳票
04: 展示会持出入力	42: 月次帳票
05: 委託入力	44: 売掛・買掛帳票
06: 売上入力	50: 棚卸処理
07: 加工入力	60: 更新処理
08: 分解入力	70: マスタ登録
09: 仕上り入力	80: 地金在庫
10: 商品照会	90: バックアップ
20: 値札印刷	99: システム終了

421: 得意先別売上月報
422: 委託残高照会
423: 受託残高照会
425: 展示会別売上集計
426: 展示会別持出残高照会
427: 展示会別持出残高明細
428: 仕入先別仕入月報
431: 売上実績表
435: 売上・仕入管理表
441: 在庫集計表
444: 在庫一覧表

処理No

1. 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

421: 得意先別売上集計表

得意先毎の売上集計結果一覧を画面に表示し必要に応じて出力します。

422: 委託残高照会

委託残高一覧を画面に表示し必要に応じて出力します。

423: 受託残高照会

受託残高一覧を画面に表示し必要に応じて出力します。

425: 展示会別売上集計

展示会毎の売上の集計結果一覧を画面に表示し必要に応じて出力します。

- 426：展示会別持出残高照会
展示会毎の持出残高一覧を画面に表示し必要に応じて出力します。
- 427：展示会別持出残高明細
展示会毎の持出残高を条件に応じ出力します。
- 428：仕入先別仕入月報
仕入先毎に月別の仕入状況を表示し必要に応じて出力します。
- 431：売上実績表
集計区分、範囲指定から月度毎の売上実績を表示し必要に応じて出力します。
- 435：売上・仕入管理表
売上・仕入の取引の管理表を出力します。
- 441：在庫集計表
集計区分、範囲指定から在庫の集計結果を画面に表示し必要に応じて出力します。
- 444：在庫一覧表
現在の在庫商品の一覧表を画面に表示し必要に応じて出力します。

421：得意先別売上集計表

得意先別売上月報								上位 999 位迄印刷
05 年 01 月度		得意先 00000 ~ 99999	展示会 00 ~ 99	区分 1	コード順	実行		
順位	得意先名	当月売上	当月粗利	率	累計売上	累計粗利	率	
1	00000 その他	1,015,000	315,000	31.0	1,015,000	315,000	31.0	
2	99999 (株)得意先名称	62,000	23,700	38.2	62,000	23,700	38.2	
合 計		1,077,000	338,700	31.4	1,077,000	338,700	31.4	

作 表 (F1) | コード (F2) | 当月売上 (F3) | 累計売上 (F4) | 前 月 (F5) | 次 月 (F6) | 戻 る (F10) | 終 了 (F12)

05年01月24日

1. 年月

画面に表示する得意先別売上月報の対象となる年月を指定します。尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
2. 得意先

画面に表示する範囲の得意先を、マスタ登録されている得意先コードで指定します。尚、表示対象が同一得意先の場合、両項目に同じ得意先コードを入力してください。
3. 展示会

画面に表示する範囲の展示会を、マスタに登録されている展示会コードで「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一展示会の場合、両項目に同じ展示会コードを入力してください。
4. 区分

画面に表示する得意先別売上月報のデータ並び替え順を数値で指定します。本項目まで入力後に実行ボタンを押すと、画面中央のリストに入力された情報を元にした月報が表示されます。

尚、入力値は 1 = コード順, 2 = 当月売上順, 3 = 累計売上順となります。
5. 実行ボタン

画面中央のリストに対象の得意先別売上月報が表示されます。

6. 作表ボタン 現在画面に表示されている得意先別売上月報を印刷します。
7. コード、当月売上、累計売上ボタン
現在画面に表示されている得意先別売上月報のデータ並び替え順を、それぞれクリックしたボタンと同名の項目の順番に変更します。
上記、4. 区分 と同様の機能です。
8. 前月ボタン 現在画面に表示されている得意先別売上月報の前月の月報を表示します。
9. 次月ボタン 現在画面に表示されている得意先別売上月報の翌月の月報を表示します。
10. 戻るボタン 画面の得意先別売上月報の得意先コードにカーソル（キーボードで操作できる位置）がある場合、「年月」の入力欄にカーソルを移動します。
11. 終了ボタン 月次帳票メニューへ戻ります。

※ 印刷対象の得意先指定について …

画面右上部に「上位 xxx 位迄印刷」（xxx は数字が入ります）という入力欄があります。この欄は、作表の際に画面に表示されているデータについて「上位いくつのデータまで印刷する」ということを指定できます。

※ 詳細情報表示について …

画面に月報が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、得意先別売上月報では、

年月、得意先、展示会、区分などを入力

↓

得意先別売上月報

↓ （画面中央のリストにある「得意先コード」を選択し、Enter）

得意先別売上月報（個別の得意先）

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

売上日報（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

422：委託残高照会

委託残高照会

委託残高照会

範囲指定			
得意先	00000	~	99999
担当者	000	~	999
委託日付	00/00/00	~	99/99/99
委託期限	00/00/00	~	99/99/99

印刷 (F1) | プレビュー (F5) | 画面 (F8) | 終了 (F12)

スペース:検索

- 得意先 照会する範囲の得意先コードを「下限」「上限」と指定します。尚、照会対象が同一の得意先の場合、両項目に同じ得意先コードを入力してください。
- 担当者 照会する範囲の担当者コードを「下限」「上限」と指定します。尚、照会対象が同一の担当者の場合、両項目に同じ担当者コードを入力してください。
- 委託日付 表示する範囲の委託日を日付形式で「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
- 委託期限 表示する範囲の委託期限日を日付形式で「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
- 印刷 (F1) ボタン 現在の表示条件で委託残高表を印刷します。
- プレビュー (F5) ボタン 現在の表示条件で委託残高表の印刷プレビューを表示します。
- 画面 (F8) ボタン 現在の表示条件で委託残高表を画面に表示します。
- 終了 (F12) ボタン 月次帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に委託残高照会が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、委託残高照会では、
各検索条件を入力

↓

委託残高照会

↓ （画面中央のリストにある「得意先コード」を選択し、Enter）

委託残高照会（明細）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

422-1 : 委託残高照会

委託残高照会				
得意先名	委託残数	委託残高	委託原価	
00000	その他	6.223	994,000	728,400
99999	(株)得意先名称	4	79,800	91,300
合 計		10.223	1,073,800	819,700

得意先:

終 了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である委託残高照会へ戻ります。

422-2 : 委託残高照会(明細)

委託残高照会								
残高 得意先 : 00000 その他								
伝票日付	伝票番号	商品番号	商品名	仕入日	仕入先名	原価	数量	金額
05/01/13	000523-001	99910-0	ダイヤル	05/01/13		120,000	0.52	120,000
05/01/13	000523-002	99910-0	ダイヤル	05/01/13		200,000	0.7	200,000
05/01/13	000523-003	05712-0	Ptダイヤリンク	05/01/14	B宝石	238,000	1	427,500
05/01/13	000523-004	90531-0	K18Ptダイヤ その他	05/01/14	B宝石	109,800	1	196,500
05/01/19	000529-003	89999-0	加工	05/01/12		18,000	1	20,000
05/01/19	000529-004	89999-0	加工	05/01/12		18,000	1	30,000
05/01/24	000532-001	00156-0	K18WGダイヤファッションリンク	03/05/12		24,600	1	0
合計						728,400	6.22	994,000
作 表 (F1)					終 了 (F12)			
								05年01月24日

1. 作表ボタン 現在画面に表示されている委託残高照会を印刷します。
2. 終了ボタン 一つ前の画面である委託残高照会へ戻ります。

423：受託残高照会

受託残高表

受託残高表

範囲指定			
仕入先	00000	~	99999
受託日付	00/00/00	~	99/99/99

印刷 (F1) | プレビュー (F5) | 画面 (F8) | 終了 (F12)

スペース:検索

1. 仕入先 照会する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、照会対象が同一の仕入先の場合、両項目に同じ仕入先コードを入力してください。
2. 受託日付 表示する範囲の受託日を日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、表示対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
3. 印刷 (F1) ボタン 現在の表示条件で受託残高表を印刷します。
4. プレビュー (F5) ボタン 現在の表示条件で受託残高表の印刷プレビューを表示します。
5. 画面 (F8) ボタン 現在の表示条件で受託残高表を画面に表示します。
6. 終了 (F12) ボタン 月次帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に受託残高照会が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、受託残高照会では、
各検索条件を入力

↓

受託残高照会

↓ （画面中央のリストにある「仕入先コード」を選択し、Enter）

受託残高照会（明細）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

423-1: 委託残高照会

受託残高照会

受託残高照会

仕入先名	数量	金額
00999 B宝石	2	582,001
合計	2	582,001

仕入先:

終了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である受託残高照会へ戻ります。

425 : 展示会別売上集計表

範囲指定				
展示会名	01	IJT東京		
区分選択	1	2	1~7 8:入金区分	
売上日付	05/01/26		~	05/02/01
1.地 金	0		~	Z
2. 石	DA		~	ZZ
3.品 種	R		~	R
4.石 区 分			~	
5.商品コード			~	
6.原 価	0		~	9,999,999
7.売 価	0		~	9,999,999

印 刷 (F1) プレビュー (F5) 終 了 (F12)

[Space] => 参照

1. 展示会名

帳票に出力する展示会について、マスタ登録されている展示会コードを指定します。該当する展示会がある場合は隣の欄に、展示会の名称が表示されます。また、該当する展示会がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
2. 区分選択

帳票出力の際、集計の基準となる項目を数字で指定します。左側の入力欄を基準とし、さらに詳細に分類し集計を算出する場合は、右側の欄の指定をしてください。尚、「8：入金区分」は入金に関する分類集計の指定ですが、左側の欄のみ入力可能で、右側の欄では指定することができません。また、この項目を指定した場合に限り、右側の分類指定が無効となります。以下に、入力値の意味を記載します。

 - 1 = 地金
 - 2 = 石
 - 3 = 種類
 - 4 = 石区分
 - 5 = 商品名
 - 6 = 原価
 - 7 = 売価
 - 8 = 入金区分
3. 売上日付

帳票に出力する範囲の売上日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。

4. 地金 帳票に出力する範囲の地金を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の地金の場合、両項目に同じ地金を
入力してください。
5. 石 帳票に出力する範囲の石を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の石の場合、両項目に同じ石を入力してください。
6. 種類 帳票に出力する範囲の種類を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の種類の場合、両項目に同じ種類を
入力してください。
7. 石区分 帳票に出力する範囲の石区分を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の石区分の場合、両項目に同じ石区分を
入力してください。
8. 商品コード 帳票に出力する範囲の商品コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の商品コードの場合、両項目に同じ商品コードを
入力してください。
9. 原価 帳票に出力する範囲の原価を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の原価の場合、両項目に同じ原価を
入力してください。
10. 売価 帳票に出力する範囲の売価を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の売価の場合、両項目に同じ売価を
入力してください。
11. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する売上集計表を印刷します。
12. プレビュー(F5)ボタン
範囲指定で入力された値に該当する売上集計表の印刷プレビュー画面を
表示します。
13. 終了(F12)ボタン 月次帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に展示会別持出残高照会が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、展示会別持出残高照会では、

展示会を入力

↓

展示会別持出残高照会

↓ （画面中央のリストにある「展示会コード」を選択し、Enter）

展示会別持出残高照会（展示会別明細）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

426-1 : 展示会別持出残高照会 (展示会別明細)

展示会別持出残高照会									
残高 展示会 : 01 IJT東京									
伝票日付	伝票番号	商品番号	商品名	仕入日	仕入先名	原価	数量	金額	
04/12/04	000041-023	05041-001	K18Pt ルビ- ファッションリンク	04/12/10	宝石C	5,200	1	0	
04/12/04	000041-024	05042-000	K18 シェルカ材	04/12/10	宝石C	2,500	1	0	
04/12/04	000041-025	05043-000	K18 タ-イ フレス	04/12/10	宝石C	41,000	1	0	
04/12/04	000041-026	05045-000	K18 フ-ル-サファイア ファッションリンク	04/12/10	宝石C	3,600	1	0	
04/12/04	000041-027	05046-000	K18 タ-イ ファッションリンク	04/12/10	宝石C	3,800	1	0	
04/12/04	000041-028	05047-000	Pt タ-イ リンク	04/12/10	宝石C	10,500	1	0	
04/12/04	000041-029	05049-000	K18 ルビ- ファッションリンク	04/12/10	宝石C	1,400	1	0	
04/12/04	000041-030	05050-000	K18 ファッションリンク	04/12/10	宝石C	1,800	1	0	
04/12/04	000041-031	05051-000	K18 ルビ- ファッションリンク	04/12/10	宝石C	1,800	1	98,000	
04/12/04	000041-032	05052-000	K18 ファッションリンク	04/12/10	宝石C	2,500	1	0	
05/01/18	000044-001	99910-000	タ-イヤメ-	05/01/13		250,000	0.41	250,000	
05/01/18	000044-002	99901-000	その他	05/01/13		400,000	0.56	400,000	
05/01/18	000044-003	99910-000	タ-イヤメ-	05/01/13		750,000	0.9	750,000	
05/01/18	000045-001	05680-000	Pt/K14WG その他	04/12/27	仕入先名称	38,300	1	4,800	
合計						2,687,200	38.9	5,016,600	

作 表 (F1)

終 了 (F12)

05年01月24日

1. 作表ボタン 現在画面に表示されている展示会別持出残高照会を印刷します。
2. 終了ボタン 一つ前の画面である展示会別持出残高照会へ戻ります。

427：展示会別持出残高明細表

展示会別持出残高明細				
範囲指定				
展示会名	01	IJT東京		
区分選択	1	2	1~7	
持出日付	05/01/26		~	05/02/01
1.地 金	0		~	Z
2. 石	DA		~	ZZ
3.品 種	R		~	R
4.石 区 分			~	
5.商品コード			~	
6.原 価	0		~	999,999
7.売 価	0		~	9,999,999

 [Space] => 参照

1. 展示会名

帳票に出力する展示会について、マスタ登録されている展示会コードを指定します。該当する展示会がある場合は隣の欄に、展示会の名称が表示されます。また、該当する展示会がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
2. 区分選択

帳票出力の際、集計の基準となる項目を数字で指定します。左側の入力欄を基準とし、さらに詳細に分類し集計を算出する場合は、右側の欄の指定をしてください。以下に、入力値の意味を記載します。

 - 1 = 地金
 - 2 = 石
 - 3 = 種類
 - 4 = 石区分
 - 5 = 商品名
 - 6 = 原価
 - 7 = 売価
3. 持出日付

帳票に出力する範囲の売上日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
4. 地金

帳票に出力する範囲の地金を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の地金の場合、両項目に同じ地金を入力してください。

5. 石 帳票に出力する範囲の石を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の石の場合、両項目に同じ石を入力してください。
6. 種類 帳票に出力する範囲の種類を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の種類の場合、両項目に同じ種類を入力してください。
7. 石区分 帳票に出力する範囲の石区分を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の石区分の場合、両項目に同じ石区分を入力してください。
8. 商品コード 帳票に出力する範囲の商品コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の商品コードの場合、両項目に同じ商品コードを入力してください。
9. 原価 帳票に出力する範囲の原価を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の原価の場合、両項目に同じ原価を入力してください。
10. 原価 帳票に出力する範囲の売価を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の売価の場合、両項目に同じ売価を入力してください。
11. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する展示会持出残高明細を印刷します。
12. プレビュー(F5)ボタン
範囲指定で入力された値に該当する展示会持出残高明細の印刷プレビュー画面を表示します。
13. 終了(F12)ボタン 月次帳票メニューに戻ります。

428：仕入先別仕入月報

仕入先別仕入月報							上位 999 位迄印刷
05 年 01 月度 仕入先 00000 ~ 99999		区分 1		コード順		実行	
仕入先名	数量	当月仕入	当月返品	数量	累計仕入	累計返品	
00999 B賃屋	14	897,723	0	14	897,723	0	
99999 欄仕入先名称	7	818,000	0	7	818,000	0	
合 計		21	1,715,723	0	21	1,715,723	0

作 表 (F1) | コード (F2) | 当月仕入 (F3) | 累計仕入 (F4) | 前 月 (F5) | 次 月 (F6) | 戻 る (F10) | 終 了 (F12)

05年01月24日

- 1. 年月** 画面に表示する仕入先別仕入月報の対象となる年月を指定します。尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
- 2. 仕入先** 画面に表示する範囲の得意先を、マスタ登録されている仕入先コードを指定します。尚、表示対象が同一仕入先の場合、両項目に同じ仕入先コードを入力してください。
- 3. 区分** 画面に表示する仕入先別仕入月報のデータ並び替え順を数値で指定します。尚、入力値は
 1 = コード順, 2 = 当月仕入順, 3 = 累計仕入順 となります。
- 4. 作表ボタン** 現在画面に表示されている仕入先別仕入月報を印刷します。
- 5. 実行ボタン** 画面中央のリストに対象の仕入先別仕入月報が表示されます。
- 6. コード、当月仕入、累計仕入ボタン**
 現在画面に表示されている仕入先別仕入月報のデータ並び替え順を、それぞれクリックしたボタンと同名の項目の順番に変更します。上記、3. 区分 と同様の機能です。

7. 前月ボタン 現在画面に表示されている仕入先別仕入月報の前の月の月報を表示します。
8. 次月ボタン 現在画面に表示されている仕入先別仕入月報の次の月の月報を表示します。
9. 戻るボタン 画面の仕入先別仕入月報の得意先コードにカーソル（キーボードで操作できる位置）がある場合、「年月」の入力欄にカーソルを移動します。
10. 終了ボタン 月次帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に月報が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、仕入先別仕入月報では、

年月、仕入先、区分などを入力

↓

仕入先別仕入月報

↓ （画面中央のリストにある「得意先コード」を選択し、Enter）

仕入先別仕入月報（個別の仕入先）

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

仕入日報（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

431 : 売上実績表

売上実績表

出力年月 **05**年 **01**月度 集計区分 **01** 得意先

範囲指定			
01.得意先	00000	~	99999
02.取引区分	00	~	99
03.担当者	000	~	999
04.展示会	00	~	99
05.仕入月	04/10	~	04/12
06.仕入先	00000	~	99999
07.地金	0	~	Z
08.石	DA	~	ZZ
09.石区分	0	~	Z
10.品種	N	~	R
11.グレード			
12.デザイン			
13.保証書No		~	

実行 (F1) 終了 (F12)

- 出力年月 画面に表示する売上実績表の対象となる年月を指定します。尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
- 集計区分 画面表示の際、集計の基準となる項目を数字で指定します。左側の入力欄を基準とし、さらに詳細に分類し集計を算出する場合は、右側の欄の指定をしてください。以下に、入力値の意味を記載します。
 - 1 = 得意先
 - 2 = 取引区分
 - 3 = 担当者
 - 4 = 展示会
 - 5 = 仕入月
 - 6 = 仕入先
 - 7 = 地金
 - 8 = 石
 - 9 = 石区分
 - 10 = 種類
 - 11 = グレード
 - 12 = デザイン
 - 13 = 保証書 No

3. 得意先 画面に表示する範囲の得意先コードを「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の得意先の場合、両項目に同じ得意先コードを入力してください。
4. 取引区分 画面に表示する範囲の取引区分を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の取引区分の場合、両項目に同じ取引区分を入力してください。
5. 担当者 画面に表示する範囲の担当者コードを「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の担当者の場合、両項目に同じ担当者コードを入力してください。
6. 展示会 画面に表示する範囲の展示会コードを「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の展示会の場合、両項目に同じ展示会コードを入力してください。
7. 仕入月 画面に表示する範囲の仕入月を日付形式（但し年月まで）で「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一月の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
8. 仕入先 画面に表示する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の仕入先の場合、両項目に同じ仕入先コードを入力してください。
9. 地金 画面に表示する範囲の地金を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の地金の場合、両項目に同じ地金を入力してください。
10. 石 画面に表示する範囲の石を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の石の場合、両項目に同じ石を入力してください。
11. 石区分 画面に表示する範囲の石区分を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の石区分の場合、両項目に同じ石区分を入力してください。
12. 品種 画面に表示する範囲の品種を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の品種の場合、両項目に同じ品種を入力してください。
13. グレード 画面に表示する範囲のグレード（部分的な名称での検索可能）を指定します。
14. デザイン 画面に表示する範囲のデザイン（部分的な名称での検索可能）を指定します。

15. 保証書 No 画面に表示する範囲の保証書 No を「下限」「上限」と指定します。
尚、表示対象が同一の保証書 No の場合、両項目に同じ保証書 No を
入力してください。
16. 実行(F1)ボタン 現在の条件で売上実績表を表示実行します。
17. 終了(F12)ボタン 売上実績表を終了し、月次帳票メニューに戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に実績表が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を
表示することができます。

尚、売上実績表では、

出力年月、集計区分、得意先などを入力

↓

売上実績表

↓ （画面中央のリストにある「NO」を選択し、Enter）

売上実績表（明細）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

431-1 : 売上実績表

売上実績表											
05 年 01 月度		売上実績表									
NO	得意先/	数量	当月売上	構成	当月粗利	粗率	数量	累計売上	構成	累計粗利	粗率
0095	99986:X時計	0	0	0.0	0	0.0	17	475,800	0.5	99,283	20.9
0096	99987:W加工	0	0	0.0	0	0.0	25	694,900	0.7	152,954	22.0
0097	99988:V鍍金	0	0	0.0	0	0.0	2	9,800	0.0	4,160	42.4
0098	99989:宝飾U	0	0	0.0	0	0.0	48	2,189,560	2.2	177,860	8.1
0099	99990:T商事	0	0	0.0	0	0.0	33	2,313,700	2.3	79,800	3.4
0100	99991:S真珠	0	0	0.0	0	0.0	5	348,000	0.4	4,000	1.1
0101	99992:R会	0	0	0.0	0	0.0	27	1,646,187	1.7	110,187	6.7
0102	99993:工芸Q	0	0	0.0	0	0.0	28	1,865,600	1.9	73,200	3.9
0103	99994:宝石P	0	0	0.0	0	0.0	194	4,164,000	4.2	37,100	0.9
0104	99995:Oメッキ	0	0	0.0	0	0.0	1	30,870	0.0	3,430	11.1
0105	99996:シューズリ-N	0	0	0.0	0	0.0	39	759,900	0.8	337,320	44.4
0106	99997:M宝飾	0	0	0.0	0	0.0	24	280,000	0.3	39,800	14.2
0107	99998:L宝石	0	0	0.0	0	0.0	2	900,000	0.9	100,000	11.1
0108	99999:(株)得意先名称	1	62,000	100.0	23,700	38.2	2	1,112,000	1.1	593,700	53.4
合計		1	62,000		23,700	38.2	1,319	98,521,067		13,181,860	13.4

NO:

作 表 (F1)	コード順 (F2)	当月数量 (F3)	当月売上 (F4)	当月粗利 (F5)	当月粗率 (F6)	累計数量 (F7)	累計売上 (F8)	累計粗利 (F9)	累計粗率 (F10)	終了 (F12)
----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	----------

05年01月04日

1. プレビューボタン

現在画面に表示されているを売上実績表の印刷プレビューを表示します。

2. コード順、当月数量、当月売上、当月粗利、当月粗率、 累計数量、累計売上、累計粗利、累計粗率ボタン

現在画面に表示されている売上実績表のデータ並び替え順を、それぞれクリックしたボタンと同名の項目の順番に変更します。

3. 終了ボタン

一つ前の画面である売上実績表（集計条件の入力）へ戻ります。

435 : 売上・仕入管理表

売上・仕入管理表										
05 年度		区分 : 1		売上・仕入実績 (1月)			実行			
月	月 計					累 計				
	売上数	売上金額	仕入数	仕入金額	粗 利	売上数	売上金額	仕入数	仕入金額	粗 利
01月	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
02月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
03月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
04月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
05月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
06月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
07月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
08月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
09月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
10月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
11月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700
12月	0	0	0	0	0	5	1,077,000	21	1,715,723	338,700

作 表 (F1)
戻 る (F10)
終 了 (F12)

05年01月24日

1. 年度 画面に表示する売上・仕入管理表の対象となる年度を指定します。
尚、西暦の下二桁を入力してください。
2. 区分 画面に表示する売上・仕入管理表の実績計算開始月を数値で指定します。
尚、入力値は
1 = 売上・仕入実績(1月), 2 = 売上・仕入実績(3月) となります。
3. 実行ボタン 画面中央のリストに対象の管理表が表示されます。
4. 作表ボタン 現在画面に表示されている売上・仕入管理表を印刷します。
5. 戻るボタン 画面の売上・仕入管理表の月にカーソル (キーボードで操作できる位置)がある場合、「年度」の入力欄にカーソルを移動します。
6. 終了ボタン 月次帳票メニューへ戻ります。

441：在庫集計表

在庫集計表

出力年月 05年 01月度 集計区分 05 商品コード* 01 連番

範囲指定			
01.連番	00000	~	99999
02.品種	R	~	R
03.仕入先	00000	~	99999
04.登録月	04/10	~	04/12
05.商品コード*	AAAAA	~	ZZZZZ
06.地金	0	~	Z
07.石	0	~	ZZ
08.石区分	0	~	Z

実行 (F1) 終了 (F12)

- 出力年月 画面に表示する在庫集計表の対象となる年月を指定します。尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
- 集計区分 画面表示の際、集計の基準となる項目を数字で指定します。左側の入力欄を基準とし、さらに詳細に分類し集計を算出する場合は、右側の欄の指定をしてください。以下に、入力値の意味を記載します。
 - = 商品番号 (連番)
 - = 品種
 - = 仕入先コード
 - = 登録月
 - = 商品コード
 - = 地金
 - = 石
 - = 石区分
- 連番 画面に表示する範囲の商品番号 (連番) を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一番号の場合、両項目に同じ番号を入力してください。
- 品種 画面に表示する範囲の品種を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の品種の場合、両項目に同じ品種を入力してください。

5. 仕入先 画面に表示する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の仕入先の場合、両項目に同じ仕入先コードを入力してください。
6. 登録月 画面に表示する範囲の登録月を日付形式（但し年月まで）で「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一月の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
7. 商品コード 画面に表示する範囲の商品コードを「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一コードの場合、両項目に同じコードを入力してください。
8. 地金 画面に表示する範囲の地金を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の地金の場合、両項目に同じ地金を入力してください。
9. 石 画面に表示する範囲の石を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の石の場合、両項目に同じ石を入力してください。
10. 石区分 画面に表示する範囲の石区分を「下限」「上限」と指定します。尚、表示対象が同一の石区分の場合、両項目に同じ石区分を入力してください。
11. 実行(F1)ボタン 現在の条件で在庫集計表を表示実行します。
12. 終了(F12)ボタン 在庫集計表を終了し、月次帳票メニューに戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に集計表が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、在庫集計表では、

出力年月、集計区分、得意先などを入力

↓

在庫集計表

↓ （画面中央のリストにある「NO」を選択し、Enter）

在庫集計表（明細）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

441-1 : 在庫集計表

在庫集計表										
05年01月度										
NO	商品コード/	前月残高		当月入庫		当月出庫		当月残高		構成
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
0001	DAL:	1	57,600	0	0	0	0	1	57,600	0.0
0002	00000:	2	3,413	0	0	0	0	2	3,413	0.0
0003	00099:	1	3,800	0	0	0	0	1	3,800	0.0
0004	000YM:	11	141,000	0	0	0	0	11	141,000	0.1
0005	013YM:	2	6,000	0	0	0	0	2	6,000	0.0
0006	021QK:	1	120,000	0	0	0	0	1	120,000	0.1
0007	OALL:	1	150,000	0	0	0	0	1	150,000	0.1
0008	OAMN:	8	23,000	0	0	0	0	8	23,000	0.0
0009	OAPN:	1	4,000	0	0	0	0	1	4,000	0.0
0010	OBOL:	4	501,500	0	0	0	0	4	501,500	0.2
0011	OBSL:	5	381,500	0	0	0	0	5	381,500	0.2
0012	OCCL:	1	202,000	0	0	0	0	1	202,000	0.1
合 計		4,227	213,599,731	0	0	0	0	4,227	213,599,731	

NO:

05年01月24日

1. プレビューボタン

現在画面に表示されているを在庫集計表の印刷プレビューを表示します。

2. コード順、当月数量、当月金額

現在画面に表示されている在庫集計表のデータ並び替え順を、それぞれクリックしたボタンと同名の項目の順番に変更します。

3. 終了ボタン

一つ前の画面である在庫集計表（集計条件の入力）へ戻ります。

441-2 : 在庫集計表 (集計区分別)

在庫明細

在庫集計表

商品コード PDAR:P t

商品名	仕入先名	登録日	入庫数	出庫数	在庫数	原価
PDAR-05712-000 Pt ダイヤ リング	B宝石	05/01/14	0	0	1	0
合 計			0	0	1	0

終了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である在庫集計表へ戻ります。

444：在庫一覧表

在庫一覧表

出力年月 **05** 年 **01** 月度

範囲指定			
出力区分	1		なし
1.商品連番	00001	~	09999
2.地 金	A	~	Z
石	00	~	ZZ
品 種	00	~	ZZ
3.石区分	0	~	Z
4.仕入先	00000	~	99999
5.登録月	04/10	~	04/12

印 刷 (F1) プレビュー (F5) 終 了 (F12)



1. 出力年月 帳票に出力する在庫一覧表の対象となる年月を指定します。
尚、年は西暦の下二桁を入力してください。

2. 出力区分 帳票出力の際、小計を算出し並べ替えの基準となる項目を数字で
指定します。
以下に、入力値の意味を記載します。
1 = なし（特に分類しない場合）
2 = 商品コード
3 = 石区分
4 = 仕入先
5 = 登録月

3. 商品連番 帳票に出力する範囲の商品番号（連番）を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一商品の場合、両項目に同じ番号を入力してください。

4. 地金 帳票に出力する範囲の地金を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の地金の場合、両項目に同じ地金を
入力してください。

5. 石 帳票に出力する範囲の石を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の石の場合、両項目に同じ石を入力してください。

6. 品種 帳票に出力する範囲の品種を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の品種の場合、両項目に同じ品種を入力してください。
7. 石区分 帳票に出力する範囲の石区分を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の石区分の場合、両項目に同じ石区分を入力してください。
8. 仕入先 帳票に出力する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の仕入先の場合、両項目に同じ仕入先コードを入力してください。
9. 登録月 帳票に出力する範囲の登録月を、日付形式（月まで）で「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一月の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
10. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する在庫一覧表を印刷します。
11. プレビュー(F5)ボタン
範囲指定で入力された値に該当する在庫一覧表の印刷プレビュー画面を表示します。
12. 終了(F12)ボタン 月次帳票メニューへ戻ります。

6) 売掛・買掛帳票メニュー

… 請求、入金など主に売り掛けに関する帳票の処理のあるメニューです。

売掛・買掛帳票メニュー	
01: 仕入入力	30: 日次帳票
02: 商品変更	40: 随時帳票
04: 展示会持出入力	42: 月次帳票
05: 委託入力	44: 売掛・買掛帳票
06: 売上入力	50: 棚卸処理
07: 加工入力	60: 更新処理
08: 分解入力	70: マスタ登録
09: 仕上り入力	80: 地金在庫
10: 商品照会	90: バックアップ
20: 値札印刷	99: システム終了

451: 売掛残高登録
452: 入金入力
453: 売掛残高一覧
454: 得意先元帳
455: 請求残高一覧
456: 請求書
457: 請求締日更新

461: 買掛残高登録
462: 支払入力
463: 買掛残高一覧
464: 仕入先元帳
465: 支払残高一覧
466: 支払締日更新

処理No

1. 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

451: 売掛残高登録	売掛残高の登録を行います。
452: 入金入力	入金伝票の登録、更新を行います。
453: 売掛残高一覧	得意先ごとの売掛残高一覧を表示します。
454: 得意先元帳	得意先ごとに入出金情報を表示します。
455: 請求残高一覧	得意先ごとの請求残高一覧を表示します。
456: 請求書発行	請求書を出力します。
457: 請求締日更新	得意先ごとの請求締日の更新を行います。
461: 買掛残高登録	買掛残高の登録を行います。
462: 支払入力	支払伝票の登録、更新を行います。
463: 買掛残高一覧	仕入先ごとの買掛残高一覧を表示します。
464: 仕入先元帳	仕入先ごとに入出金情報を表示します。
465: 支払残高一覧	仕入先ごとの支払残高一覧を表示します。
467: 支払締日更新	仕入先ごとの支払締日の更新を行います。

451 : 売掛残高登録

売掛残高登録					
得意先 : 00000 ~ 99999		締日区分 : 00 ~ 99		実行(F1)	
得意先名	締日区分	前回締日	前回残高	前期残高	
00000	その他	31	05/01/31	2,530	2,530
00001	A宝石	31	05/01/31	8,136,201	2,501,100
00002	B商会	31	05/01/31	2,132,156	0
00003	C本舗	31	05/01/31	25,400	0
00004	D工芸	31	05/01/31	85,410	21,000
00005	F時計	31	05/01/31	0	0
00006	Gジュエリ-	20	05/01/20	165,120	0
00007	H商店	20	05/01/20	1,564	0
00008	I貴金属	31	05/01/31	581,600	581,600
00009	J時計	31	05/01/31	9,500	9,500
00010	K金属	30	05/01/31	954,300	0
00011	ジュエリ-L	31	05/01/31	1,450,200	0
00012	宝石M	20	05/01/20	912,300	0
00013	工芸N	30	05/01/30	72,100	0
00014	工芸O	20	05/01/20	655,800	0
00015	時計P	31	05/01/31	156,000	0
00016	ジュエリ-Q	31	05/01/31	0	0
00017	R商事	31	05/01/31	158,140	0
00018	S時計	31	05/01/31	958,300	0
00019	貴金属T	31	05/01/31	150,000	0

戻る (F5) 終了 (F12)

1. 得意先 登録する範囲の得意先を「下限」「上限」と指定します。
尚、登録対象が同一の得意先の場合、両項目に同じ得意先を入力してください。
2. 締日区分 登録する範囲の締日区分を「下限」「上限」と指定します。
尚、登録対象が同一の締日区分の場合、両項目に同じ締日区分を入力してください。
3. 実行(F1)ボタン 画面中央のリストに対象の得意先が表示されます。
4. リスト部分(締日区分, 前回締日, 前回残高, 前期残高)
 登録する得意先の各々の情報を入力してください。
5. 戻る(F5)ボタン フォーカスを得意先範囲指定に移動します。
6. 終了(F12)ボタン 売掛・買掛帳票メニューに戻ります。

452 : 入金入力

入金入力

修正 入金入力

伝票番号 入金日付
000001 05/01/20 登録

行	得意先名	入金区分	金額
001	00001 A宝石	01 現金	16,500
002	00002 B商会	03 振込み	15,000
003	00005 F時計	01 現金	85,000
004			
005			
006			
007			
008			
009			
010			
伝票計			116,500

行 得意先名 入金区分 金額
004 00006 Gジュエリー 03 振込み 180,000 登録(F1)

行削除(F7)

伝票削除 (F8) 伝票終了 (F12)

1. 伝票番号

登録または更新する入金伝票の伝票番号を入力してください。
該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
2. 入金日付

入金伝票の日を日付形式で入力してください。
3. 登録ボタン

画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。
4. 行

表示または登録する入金伝票内での行番号を入力してください。
また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。
尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。

5. 得意先名 登録する得意先について、マスタ登録されている得意先コードを入力してください。該当する得意先がある場合は隣の欄に、得意先の名称が表示されます。また、該当する得意先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
6. 入金区分 登録する入金区分について、マスタ登録されている区分コードを入力してください。該当する入金区分がある場合は隣の欄に、区分の名称が表示されます。また、該当する入金区分ない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
7. 金額 登録する金額を入力してください。
8. 登録(F1)ボタン 現在、画面下部に表示されているその他商品を登録します。
9. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。尚、実際に在庫のある商品が表示されている場合のみ、このボタンが使用できるようになります。また、このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



10. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。

11. 伝票終了 / 終了ボタン

入金伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。
尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、
新規入力で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの
表示が「伝票終了」に変わります。ボタンの表示が「伝票終了」の時に
クリックすると現在入力中の伝票の処理を終了し、「終了」の時に
クリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

453：売掛残高一覧

売掛残高一覧							
05	年	01	月度	得意先	00000	~ 99999	実行
得意先名	前回残高	当月売上	返品値引	消費税	当月入金	当月残高	
00000 その他	353,943	1,015,000	0	50,750	0	1,419,693	
00001 A宝石	10,271,830					10,271,830	
00003 C本舗	4,860,975					4,860,975	
00004 D工芸	294,000					294,000	
00006 Gジュエリ-	2,493,540					2,493,540	
00007 H商店	1,179,150					1,179,150	
00008 I貴金属	1,587,500					1,587,500	
00009 J時計	1,875,480					1,875,480	
00012 宝石M	3,203,860					3,203,860	
00013 工芸N	4,468,800					4,468,800	
00014 工芸O	2,625					2,625	
00015 時計P	1,588,650					1,588,650	
00018 S時計	131,775					131,775	
00019 貴金属T	9,922					9,922	
00025 Yジュエリ-	6,500,550					6,500,550	
00028 Z商事	1,718,850					1,718,850	
合計	180,902,181	1,077,000	0	53,850	0	182,033,031	

得意先

05年01月24日

1. 年・月度 画面に表示する売掛残高一覧の年度を西暦2桁、月2桁で指定します。
2. 得意先 画面に表示する範囲の得意先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一得意先の場合、両項目に同じ得意先を入力してください。
3. 実行ボタン 画面中央のリストに対象の売掛残高一覧表が表示されます。
4. 作表ボタン 現在画面に表示されている売掛残高一覧を印刷します。
5. 前月・次月 指定年月度の前後の売掛残高一覧が表示されます。
6. 戻るボタン フォーカスを年度に移動します。
7. 終了ボタン 売掛・買掛帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に残高一覧が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（得意先別、伝票別など）を表示することができます。

尚、売掛残高では、

年、月度、得意先を入力

↓

売掛残高一覧

↓ （画面中央のリストにある「得意先コード」を選択し、Enter）

売上明細照会（得意先別）

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

売上集計表（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

453-1 : 売上明細照会 (得意先別)

売上明細照会(得意先別)

売上明細照会

05年01月度

得意先 00000 その他

伝票日付	伝票番号	区分	売上額	消費税	入金額	残高
		前回残高				353,943
05/01/19	000285	売上	260,000	13,000		626,943
05/01/24	000286	売上	60,000	3,000		689,943
05/01/24	000288	売上	695,000	34,750		1,419,693
合計			353,943	1,015,000	50,750	1,419,693

伝票番号

終了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である売掛残高一覧へ戻ります。

453-2 : 売上集計表 (伝票番号別)

売上集計表(伝票番号別)

売上集計表

伝票日付: 05/01/24 伝票番号: 000288 得意先: 00000 その他

行番	商品番号	商品名	仕入先名	仕入日	原価	数量	金額	粗率
001	05764-000	Pt アレキ リンク*	(株)仕入先名称	05/01/24	480,000	1	695,000	30.9
合 計					480,000	1	695,000	30.9

行番

終 了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である売上明細参照へ戻ります。

454：得意先元帳

得意先元帳

得意先元帳

範囲指定			
得意先	00000	~	99999
伝票日付	04/10/01	~	04/12/31
明細区分	1	1:出力しない, 2:出力する	

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

1. 得意先 元帳に出力する範囲の得意先を「下限」「上限」で指定します。
尚、出力対象が1件の場合、両項目に同じ番号を入力してください。
2. 伝票日付 元帳に出力する範囲の伝票日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
3. 明細区分 元帳に出力する明細の有無を指定します。
尚、入力値は 1 = 出力しない, 2 = 出力する となります。
4. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する得意先元帳を印刷します。
5. プレビュー(F5)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する得意先元帳の印刷プレビュー画面を表示します。
6. 終了ボタン 売掛・買掛帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に残高一覧が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、請求残高では、

締日、請求日、請求先を入力

↓

請求残高一覧

↓ （画面中央のリストにある「得意先コード」を選択し、Enter）

売上明細照会（請求先別）

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

売上集計表（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

455-1: 請求残高照会 (請求先別)

売上明細照会(得意先別)

売上明細照会

請求日: 05/01/24

請求先 00000 その他

伝票日付	伝票番号	区分	売上額	消費税	入金額	残高
		前回残高				2,530
05/01/19	000285	売上	260,000	13,000		275,530
05/01/24	000286	売上	60,000	3,000		338,530
05/01/24	000288	売上	695,000	34,750		1,068,280
合計			2,530	1,015,000	50,750	1,068,280

伝票番号

終了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である請求残高一覧へ戻ります。

456：請求書発行

請求書

請求書

範囲指定			
締日区分	31		
請求日	04/01/31		
得意先	01500	～	89999

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)



1. 締日区分 帳票に出力する請求書の締日区分を数値で指定します。
2. 請求日 帳票に出力する請求日を日付形式で指定します。
3. 得意先 帳票に出力する範囲の得意先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の得意先の場合、両項目に同じ得意先を入力してください。
4. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する請求書を印刷します。
5. プレビュー(F5)ボタン
 範囲指定で入力された値に該当する請求書の印刷プレビュー画面を表示します。
6. 終了(F12)ボタン 売掛・買掛帳票メニューへ戻ります。

457：請求締日更新

締日更新

締日更新

範囲指定			
締日区分	20		
請求日	04/01/21		
得意先	00001	~	01000

更新 (F1) 終了 (F12)



1. 締日区分 更新する請求締日区分を数値で指定します。
2. 請求日 更新する請求日を日付形式で指定します。
3. 得意先 更新する範囲の得意先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の得意先の場合、両項目に同じ得意先を入力してください。
4. 更新(F1)ボタン 範囲指定で入力された値で該当する請求書を更新します。
5. 終了(F12)ボタン 売掛・買掛帳票メニューへ戻ります。

461 : 買掛残高登録

買掛残高登録					
仕入先: 00000 ~ 99999		締日区分: 00 ~ 99		実行(F1)	
仕入先名	締日区分	前回締日	前回残高	前期残高	
00001	A 宝石	31	04/11/30	23,100	0
00002	B 商会	31	04/11/30	180,000	0
00003	C 本舗	31	04/11/30	250,000	0
00005	F 時計	31	04/11/30	150,000	0
00007	H 商事	31	04/11/30	845,000	0
00008	I 貴金属	31	04/11/30	652,000	0
00009	西成質屋組合	31	04/11/30	0	0
00010	J 時計	31	04/11/30	18,000	0
00011	K 金属	31	04/11/30	0	0
00013	ジュエリ-L	31	04/11/30	310,000	0
00016	工芸N	31	04/11/30	250,000	0
00018	ジュエリ-Q	31	04/11/30	0	0
00020	S 時計	31	04/11/30	18,750	0
00021	AB 時計	31	04/11/30	0	0
00026	宝石U	31	04/11/30	290,000	0
00027	Y 宝石	31	04/11/30	354,000	0
00028	Z 東京店	31	04/11/30	158,000	0
00029	AC 貴金属	31	04/11/30	8,450,000	0
00030	AD 商事	31	04/11/30	958,100	0
00031	ジュエリ-AE	31	04/11/30	154,000	0

戻る (F5) 終了 (F12)

1. 仕入先 登録する範囲の仕入先を「下限」「上限」と指定します。
尚、登録対象が同一の仕入先の場合、両項目に同じ仕入先を入力してください。
2. 締日区分 登録する範囲の締日区分を「下限」「上限」と指定します。
尚、登録対象が同一の締日区分の場合、両項目に同じ締日区分を入力してください。
3. 実行(F1)ボタン 画面中央のリストに対象の仕入先が表示されます。
4. リスト部分(締日区分, 前回締日, 前回残高, 前期残高)
 登録する仕入先の各々の情報を入力してください。
5. 戻る(F5)ボタン フォーカスを仕入先範囲指定に移動します。
6. 終了(F12)ボタン 売掛・買掛帳票メニューに戻ります。

462 : 支払入力

支払入力

修正 支払入力

伝票番号 支払日付
000001 05/01/24 登録

行	仕入先名	支払区分	金額
001	00001 A宝石	01 現金	21,500
002	00002 B商会	03 振込み	400,000
003	00003 C本舗	03 振込み	250,000
004			
005			
006			
007			
008			
009			
010			
伝票計			671,500

行 仕入先名 支払区分 金額
004 00005 F時計 01 現金 250,000 登録(F1)
行削除(F7)

伝票削除 (F8) 伝票終了 (F12)

1. 伝票番号

登録または更新する支払伝票の伝票番号を入力してください。
該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
2. 支払日付

支払伝票の日を日付形式で入力してください。
3. 登録ボタン

画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。
4. 行

表示または登録する支払伝票内での行番号を入力してください。
また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。
尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。

5. 仕入先名 登録する仕入先について、マスタ登録されている仕入先コードを入力してください。該当する仕入先がある場合は隣の欄に、仕入先の名称が表示されます。また、該当する仕入先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
6. 支払区分 登録する支払区分について、マスタ登録されている区分コードを入力してください。該当する支払区分がある場合は隣の欄に、区分の名称が表示されます。また、該当する支払区分ない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
7. 金額 登録する金額を入力してください。
8. 登録(F1)ボタン 現在、画面下部に表示されているその他商品を登録します。
9. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。尚、実際に在庫のある商品が表示されている場合のみ、このボタンが使用できるようになります。また、このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



10. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。

11. 伝票終了 / 終了ボタン

支払伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。

尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が「伝票終了」に変わります。

ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の処理を終了し、「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

463：買掛残高一覧

買掛残高一覧

05 年 01 月度 仕入先 00000 ~ 99999 実行

仕入先名	前回残高	当月仕入	返品値引	消費税	当月支払	当月残高
00999 B宝石	1,597,050	897,723		44,886		2,539,659
99999 (株)仕入先名称	0	818,000		40,900		858,900
合計	1,597,050	1,715,723		85,786		3,398,559

仕入先

作表 (F1) 前月 (F5) 次月 (F6) 戻る (F10) 終了 (F12)

05年01月24日

1. 年・月度 画面に表示する買掛残高一覧の年度を西暦2桁、月2桁で指定します。
2. 仕入先 画面に表示する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一仕入先の場合、両項目に同じ仕入先を入力してください。
3. 実行ボタン 画面中央のリストに対象の買掛残高表が表示されます。
4. 作表ボタン 現在画面に表示されている買掛残高一覧を印刷します。
5. 前月・次月 指定年月度の前後の買掛残高一覧が表示されます。
6. 戻るボタン フォーカスを年度に移動します。
7. 終了ボタン 売掛・買掛帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に残高一覧が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（仕入先別、伝票別など）を表示することができます。

尚、買掛残高では、

年、月度、仕入先を入力

↓

買掛残高一覧

↓ （画面中央のリストにある「仕入先コード」を選択し、Enter）

仕入明細照会（仕入先別）

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

仕入集計表（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

463-1 : 仕入明細照会 (仕入先別)

仕入明細照会(仕入先別)

仕入明細照会

05年01月度

仕入先 00999 B宝石

伝票日付	伝票番号	区分	仕入額	消費税	支払額	残高
		前回残高				1,597,050
05/01/07	000337	仕入	245,000	12,250		1,854,300
05/01/11	000340	仕入	15,000	750		1,870,050
05/01/11	000341	仕入	248,000	12,400		2,130,450
05/01/11	000342	仕入	1,800	90		2,132,340
05/01/11	000343	仕入	37,400	1,870		2,171,610
05/01/13	000010	加工賃	0	0		2,171,610
05/01/13	000344	仕入	2,601	130		2,174,341
05/01/13	000345	仕入	120	6		2,174,467
05/01/14	000346	仕入	347,800	17,390		2,539,657
05/01/14	000348	仕入	2	0		2,539,659
合計			897,723	44,886		2,539,659

伝票番号

終了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である買掛残高一覧へ戻ります。

463-2 : 仕入集計表 (伝票番号別)

仕入集計表(伝票番号別)

仕入集計表

伝票日付: 05/01/07 伝票番号: 000337 仕入先: 00999 B宝石

行番	商品番号	商品名	数量	金額
001	KDAR-05683-000	K18 タイア リンク*	1	245,000
合 計			1	245,000

行番

終 了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である仕入残高一覧へ戻ります。

464：仕入先元帳

仕入先元帳

仕入先元帳

範囲指定			
仕入先	00000	～	99999
伝票日付	04/10/01	～	04/12/31
明細区分	1	1:出力しない, 2:出力する	

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)



1. 仕入先 元帳に出力する範囲の仕入先を「下限」「上限」で指定します。
尚、出力対象が1件の場合、両項目に同じ番号を入力してください。
2. 伝票日付 元帳に出力する範囲の伝票日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
3. 明細区分 元帳に出力する明細の有無を指定します。
尚、入力値は 1 = 出力しない, 2 = 出力する となります。
4. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する仕入先元帳を印刷します。
5. プレビュー(F5)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する仕入先元帳の印刷プレビュー画面を表示します。
6. 終了ボタン 売掛・買掛帳票メニューへ戻ります。

465 : 支払残高一覧

支払残高一覧							
締日区分	31	支払日	05/01/24	仕入先	00000 ~ 99999	実行	
仕入先名	前月支払	当月支払	繰越金額	当月仕入	消費税	当月請求	
00001 A宝石	23,100	0	23,100	5,760,900	288,045	6,072,045	
00002 B商会	180,000	0	180,000	11,947,100	597,355	12,724,455	
00003 C本舗	250,000	0	250,000	2,972,400	148,620	3,371,020	
00005 F時計	150,000	0	150,000	311,000	15,550	476,550	
00007 H商事	845,000	0	845,000	8,343,700	417,185	9,605,885	
00008 I貴金属	652,000	0	652,000	824,600	41,230	1,517,830	
00009 西成質屋組合	0	0	0	3,403,900	170,195	3,574,095	
00010 J時計	18,000	0	18,000	0	0	18,000	
00013 シュエリ-L	310,000	0	310,000	59,000	2,950	371,950	
00016 工芸N	250,000	0	250,000	655,486	32,774	938,260	
00020 S時計	18,750	0	18,750	0	0	18,750	
00021 AB時計	0	0	0	346,000	17,300	363,300	
00026 宝石U	290,000	0	290,000	0	0	290,000	
00027 Y宝石	354,000	0	354,000	0	0	354,000	
00028 Z東京店	158,000	0	158,000	0	0	158,000	
00029 AC貴金属	8,450,000	0	8,450,000	0	0	8,450,000	
合計	13,060,950	0	13,060,950	49,555,366	2,477,757	65,094,073	

仕入先

作 表 (F1) 戻 る (F5) 終 了 (F12)

05年01月24日

1. 締日区分 画面に表示する支払残高一覧の締日区分を数値で指定します。
2. 支払日 画面に表示する支払残高一覧の支払日を日付形式で指定します。
3. 仕入先 画面に表示する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一仕入先の場合、両項目に同じ仕入先を入力してください。
4. 実行ボタン 画面中央のリストに対象の支払残高表が表示されます。
5. 作表ボタン 現在画面に表示されている支払残高一覧を印刷します。
6. 戻るボタン フォーカスを締日区分に移動します。
7. 終了ボタン 売掛・買掛帳票メニューへ戻ります。

※ 詳細情報表示について …

画面に残高一覧が表示されている場合、さらに詳細な情報の画面（日別、伝票別など）を表示することができます。

尚、支払残高では、

締日、支払日、仕入先を入力

↓

支払残高一覧

↓ （画面中央のリストにある「仕入先コード」を選択し、Enter）

仕入明細照会（仕入先別）

↓ （画面中央のリストにある「伝票番号」を選択し、Enter）

仕入集計表（伝票番号別）

↓ （画面中央のリストにある「商品番号」を選択し、Enter）

商品照会

という、表示の流れになります。

465-1 : 仕入明細照会 (仕入先別)

仕入明細照会(仕入先別)

仕入明細照会

支払日:05/01/24

仕入先 00001 A宝石

伝票日付	伝票番号	区分	仕入額	消費税	支払額	残高
		前回残高				23,100
04/12/11	000290	仕入	415,600	20,780		459,480
04/12/11	000291	仕入	1,914,400	95,720		2,469,600
04/12/11	000292	仕入	1,217,000	60,850		3,747,450
04/12/11	000293	仕入	667,800	33,390		4,448,640
04/12/11	000294	仕入	381,700	19,085		4,849,425
04/12/11	000295	仕入	1,139,400	56,970		6,045,795
04/12/14	000312	仕上	15,000	750		6,061,545
04/12/20	000332	仕入	10,000	500		6,072,045
合計			5,760,900	288,045		6,072,045

伝票番号

終了 (F12)

05年01月24日

1. 終了ボタン 一つ前の画面である支払残高一覧へ戻ります。

467：支払締日更新

支払締日更新

支払締日更新

範囲指定			
締日区分	20		
請求日	04/12/21		
仕入先	00000	~	99999

更新 (F1) 終了 (F12)



1. 締日区分 更新する支払締日区分を数値で指定します。
2. 請求日 更新する請求日を日付形式で指定します。
3. 仕入先 更新する範囲の仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の仕入先の場合、両項目に同じ仕入先を入力してください。
4. 更新(F1)ボタン 範囲指定で入力された値で該当する支払締日を更新します。
5. 終了(F12)ボタン 売掛・買掛帳票メニューへ戻ります。

7) 棚卸処理メニュー

… 棚卸し時に使用する処理のあるメニューです。

棚卸処理メニュー	
01: 仕入入力	30: 日次帳票
02: 商品変更	40: 随時帳票
04: 展示会持出入力	42: 月次帳票
05: 委託入力	44: 売掛・買掛帳票
06: 売上入力	50: 棚卸処理
07: 加工入力	60: 更新処理
08: 分解入力	70: マスタ登録
09: 仕上り入力	80: 地金在庫
10: 商品照会	90: バックアップ
20: 値札印刷	99: システム終了

501: 棚卸準備処理
502: 棚卸入力
503: 棚卸照会
504: 棚卸過不足表

510: 在庫調整入力

処理No

1. 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

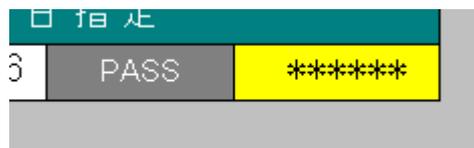
- | | |
|-------------|---|
| 501: 棚卸準備処理 | 本システムが棚卸しを行う準備処理をします。
※ 尚、本処理は棚卸しを始める前に必ず実行してください。 |
| 502: 棚卸入力 | 棚卸しを行う商品を入力します。 |
| 503: 棚卸照会 | 得意先ごとの取引の管理表を出力します。 |
| 504: 棚卸過不足表 | 仕入先ごとの取引の管理表を出力します。 |
| 510: 在庫調整入力 | 在庫を調整する伝票の登録、更新、削除を行います。
※尚、使用にはパスワード入力が必要です。 |

501 : 棚卸準備処理



初期画面

1. 棚卸日
棚卸しを行う日にちを日付形式で入力してください。
尚、本画面起動時には自動的に本日日付（パソコンで指定されているもの）が表示されます。
2. PASS
棚卸準備処理を行うためのパスワードを入力します。
正しいパスワードが入力された場合、画面下部の「実行(F1)ボタン」が使用できるようになります。
尚、パスワードの入力形式は下記注釈の通りとなります。
また、パスワードを入力した際、入力した値が画面上では全て「*」と表示されますが、これはパスワードを画面から隠蔽する機能であり、この「*」という状態で正しく入力できています。



※パスワード入力中

3. 実行(F1)ボタン
棚卸準備処理を開始します。
準備処理が終了しますと、下記メッセージを表示し棚卸処理メニューに戻ります。



4. 終了(F12)ボタン
棚卸処理メニューへ戻ります。

※ パスワードの入力形式 …

パスワードは、「棚卸日」で入力した日付を数値に置き換えて「1,000,000」からその数値を減算した数値となります。

具体的には下記のようになります。

- 1) 棚卸日を「04/03/31」と入力。
- 2) 「04/03/31」を数値に置き換える。
「04/03/31」 → 「040331」 → 「40331」
- 3) 「1,000,000」から「40,331」を減算する。
 $1000000 - 40331 = 959669$
- 4) 減算結果「959669」をパスワードとして入力。

502 : 棚卸入力

棚卸入力									
棚卸日		04/12/01		合計					
処理区分		1 (1:入力,2:減算)		棚番		A0003			
						6			
商品番号	地金名	品名	中石名	登録日付	仕入先名	原価	数量		
PDAN 05765 001	P t	ネックレス	タ ^イ	05/01/25	仕入先名称	20,000	-1		
PDAN 05765 004	P t	ネックレス	タ ^イ	05/01/25	仕入先名称	400,000	1		
PDAN 05765 005	P t	ネックレス	タ ^イ	05/01/25	仕入先名称	400,000	1		
PDAN 05765 006	P t	ネックレス	タ ^イ	05/01/25	仕入先名称	400,000	1		
KDAR 05767 004	K18	リング	タ ^イ	05/01/25	B宝石	450,000	1		
KDAR 05767 006	K18	リング	タ ^イ	05/01/25	B宝石	450,000	1		
KDAR 05767 007	K18	リング	タ ^イ	05/01/25	B宝石	450,000	1		
KDAR 05767 010	K18	リング	タ ^イ	05/01/25	B宝石	450,000	1		
石目									
登録(F1)									
終了(F12)									

1. 棚卸日

棚卸準備処理で入力実行された日付が表示されます。
ここでは参照のみで、編集等はできません。
2. 処理区分

画面起動時に「1」と表示されます。ここでは参照のみで編集等はできません。(特に変更の必要はありません)
3. 棚番

現在の入力に対する棚番を必要に応じて入力してください。
4. 商品番号 (画面左下部)

棚卸し対象の商品番号 (連番) を入力してください。
棚卸しに該当する商品がある場合は以降の欄に、入力商品の情報が表示されます。また、該当するものがない場合はそれぞれ該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
5. 数量 (画面右下部)

棚卸し対象の商品の数量を入力してください。
商品番号入力後に表示されますが、変更することができます。
6. 登録(F1)ボタン

画面下部に表示された商品を登録します。
尚、登録された商品は、画面中央のリストに下から順に追加されます。
7. 終了ボタン

棚卸処理メニューへ戻ります。

503 : 棚卸照会

棚卸照会							
照会区分 1 1:棚番合計 2:棚番明細 3:商品連番							照会(F4)
棚番	商品番号	地金名	品 種 名	石 名	登録日付	数 量	金 額
A0001						2	884,280
A0002						965	21,472,304
A0003						120	2,114,000
合 計						1,087	24,470,584
印 刷 (F1)		プレビュー (F5)			終 了 (F12)		

1. 照会区分 データ照会の際、算出の基準となる項目を数字で指定します。
以下に、入力値の意味を記載します。
 - 1 = 棚番合計：棚番単位での合計一覧を表示します。
 - 2 = 棚番明細：棚番を指定し、各々の棚番の明細を表示します。
 - 3 = 商品連番：商品番号（連番）を指定し、各々の商品の明細を表示します。
2. 照会(F4)ボタン 照会区分に指定したデータを画面に表示します。
3. 印刷(F1)ボタン 照会区分が2, 3の場合、画面に表示されている棚卸商品を印刷します。
4. プレビュー(F5)ボタン
照会区分が、2, 3の場合、画面に表示されている棚卸商品を印刷します。
5. 終了(F12)ボタン
棚卸処理メニューへ戻ります。

※ 棚番明細指定の例 …

棚卸照会

棚卸照会

照会区分 **2** 1:棚番合計 2:棚番明細 3:商品連番 棚番 **A0003** 照会(F4)

棚番	商品番号	地金名	品 種 名	石 名	登録日付	数 量	金 額
A0003	-00016-000				00/05/02	85	1,445,000
A0003	-00160-000				01/11/30	24	345,600
A0003	EM-00180-000			エメラルド*	02/06/11	11	323,400
合 計						120	2,114,000

印 刷 (F1) プレビュー (F5) 終 了 (F12)

※ 商品連番指定の例 …

棚卸照会

棚卸照会

照会区分 **3** 1:棚番合計 2:棚番明細 3:商品連番 商品連番 **00160** 照会(F4)

棚番	商品番号	地金名	品 種 名	石 名	登録日付	数 量	金 額
A0003	-00160-000				01/11/30	24	345,600
合 計						24	345,600

印 刷 (F1) プレビュー (F5) 終 了 (F12)

504：棚卸過不足表

棚卸過不足表

棚卸日：04/12/01

範囲指定			
検索区分	2	品種	
1.商品連番	00000	～	99999
2.品 種	0	～	ZZ
石	DA	～	ZZ
地 金	0	～	Z
3.石区分		～	
出力区分	1	1: 貴金属, 2: ルース, 3: 時計, 4: 材料	

印 刷 (F1) | プレビュー (F5) | 終 了 (F12)

1. 検索区分

帳票出力の際、小計を算出し並べ替えの基準となる項目を数字で指定します。以下に、入力値の意味を記載します。

 - 1 = 商品連番（商品番号の連番）
 - 2 = 種類
 - 3 = 石区分

2. 商品連番

帳票に出力する範囲の商品番号（連番）を「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一商品の場合、両項目に同じ番号を入力してください。

3. 品種

帳票に出力する範囲の品種を「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一の品種の場合、両項目に同じ品種を入力してください。

4. 石

帳票に出力する範囲の石を「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一の石の場合、両項目に同じ石を入力してください。

5. 地金

帳票に出力する範囲の地金を「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一の地金の場合、両項目に同じ地金を入力してください。

6. 石

帳票に出力する範囲の石区分を「下限」「上限」と指定します。尚、出力対象が同一の石区分の場合、両項目に同じ石区分を入力してください。

7. 出力区分 帳票に出力する区分を入力してください。
尚、入力値は 1:貴金属, 2:ルース, 3:時計, 4:材料 です。
8. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する棚卸過不足表を印刷します。
9. プレビュー(F5)ボタン
範囲指定で入力された値に該当する棚卸過不足表の
印刷プレビュー画面を表示します。
10. 終了(F12)ボタン 棚卸処理メニューへ戻ります。

510 : 在庫調整入力

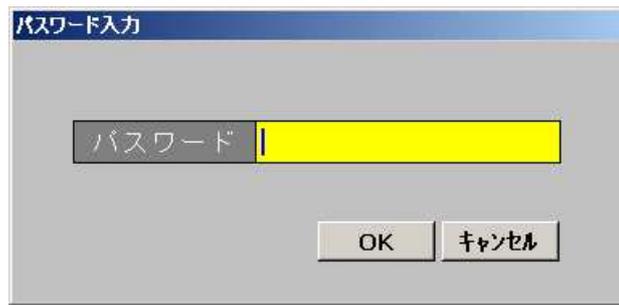
在庫調整入力									
修正									
在庫調整入力									
伝票番号	伝票日付	入力担当者		調整理由					
000002	05/01/20	000	その他	調整					
登録(F5)									
行	商品番号	地金名	品名	中石名	仕入日付	仕入先名	数量	原価	
001	P00N 05679	001 Pt	ネックレス		04/11/01	仕入先A社	1	8,000	
002	0DAL 05679	002	ルース	ダイヤ	04/11/01	仕入先A社	1	12,000	
003	PDAR 05680	000 Pt	リング	ダイヤ	05/01/24	B質屋	1	385,000	
004	10001 05681	000 Pt/K14WG	ハーツ		05/02/15	B質屋	1	5,210	
005	PDAR 05682	000 Pt	リング	ダイヤ	05/02/15	B質屋	1	180,000	
006	PALR 05683	000 Pt	リング	アキ	05/02/15	B質屋	1	480,000	
007	PDAN 05684	000 Pt	ネックレス	ダイヤ	05/02/15	欄仕入先名称	1	340,000	
008	00100 05685	000	その他	ROLEX	05/02/15	欄仕入先名称	1	480,000	
009									
010									
							伝票計	8	1,890,210
行	商品番号	地金名	品名	中石名	仕入日付	仕入先名	数量	原価	
008	00100 05685	000	その他	ROLEX	05/02/15	欄仕入先名称	1	480,000	
石目						0	0	登録(F1)	
行削除(F7)									
伝票削除 (F8)					伝票終了 (F12)				

- 1. 伝票番号** 登録または更新する在庫調整伝票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
- 2. 伝票日付** 登録する在庫調整伝票の日を日付形式で入力してください。
- 3. 入力担当者** 登録する担当者のコードを入力してください。
 該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。
 また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
- 4. 調整理由** 登録する在庫調整伝票の調整理由を入力してください。
- 5. 登録ボタン** 画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。

6. 行 表示または登録する商品の伝票内での行番号を入力してください。
また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。
尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。
7. 商品番号 登録する商品の商品番号を入力してください。
3つの入力欄は、左から順番に
「商品コード」「商品番号」「商品番号（子番）」
と並んでいます。
新規の行を追加する場合、商品番号を入力することで該当する商品が登録されている場合は以降の欄に商品の情報が表示されます。
8. 地金名、品種名、中石名、仕入日付、仕入先名、
数量、原価、石目（3つ）、デザイン、重量、長さ
登録する商品の各々の情報が表示されます。
尚、「数量」「原価」「石目（3つ）」は入力および変更ができます。
石目につきましては、小数点以下第三位まで入力できます。
9. 登録(F1)ボタン 現在、画面下部に表示されている商品を登録します。
10. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。また、このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。
削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



11. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



12. 伝票終了 / 終了ボタン

在庫調整伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。
尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力
で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が
「伝票終了」に変わります。
ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の
処理を終了し「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じて
メニューに戻ります。

※尚、起動時にパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、在庫調整入力画面が
表示されます。パスワードを入力せずに使用する事はできません。

8) マスタ登録メニュー

… 各種マスタ登録の処理のあるメニューです。

マスタ登録メニュー	
01: 仕入入力	30: 日次帳票
02: 商品変更	40: 随時帳票
04: 展示会持出入力	42: 月次帳票
05: 委託入力	44: 売掛・買掛帳票
06: 売上入力	50: 棚卸処理
07: 加工入力	60: 更新処理
08: 分解入力	70: マスタ登録
09: 仕上り入力	80: 地金在庫
10: 商品照会	90: バックアップ
20: 値札印刷	99: システム終了

701: 得意先マスタ登録
702: 仕入先マスタ登録
703: DM顧客登録
704: 地金マスタ登録
705: 石マスタ登録
706: 品種マスタ登録
707: 展示会情報登録
708: 担当者マスタ登録
709: 取引区分名登録
711: 決済区分登録
712: 商品地金登録
713: 換算地金登録
714: その他商品登録
715: 支払区分登録
720: 旧商品情報削除

処理No

- 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

701: 得意先マスタ登録	得意先情報の登録、得意先一覧表を出力します。
702: 仕入先マスタ登録	仕入先情報の登録、仕入先一覧表を出力します。
703: DM顧客登録	ダイレクトメール用顧客情報の登録、顧客一覧表を出力します。
704: 地金マスタ登録	地金情報の登録、一覧表を出力します。
705: 石マスタ登録	石情報の登録、一覧表を出力します。
706: 品種マスタ登録	品種情報の登録、一覧表を出力します。
707: 展示会情報登録	展示会情報の登録、一覧表の出力をします。
708: 担当者マスタ登録	担当者の登録、一覧表の出力をします。
709: 取引区分名登録	取引区分の登録、一覧表の出力をします。
711: 決済区分登録	決済区分の登録、一覧表の出力をします。
712: 商品地金登録	商品地金情報の登録、一覧表を出力します。
713: 換算地金登録	換算地金情報の登録、一覧表を出力します。

714：その他商品登録	その他商品の登録、一覧表を出力します。
715：支払区分登録	支払区分の登録、一覧表を出力します。
720：旧商品情報削除	入庫履歴のない商品の削除をします。

701 : 得意先マスタ登録

得意先マスタ登録			
更 新		得意先マスタ登録	
得意先情報			
コード	99999		
検索コード	ト		
得意先名	㈱得意先名称		
担当者名	555	アルファテック	
敬称区分	1	1 : 御中, 2 : 様, 3 : 殿	
略 称	㈱得意先名称		
代表者名	山田		
郵便番号	100-0000		
住 所 1	東京都千代田区		
住 所 2	XXビル		
電話番号	03-1234-5678		
FAX 番号	03-1234-5679		
携帯番号	090-1234-5678		
取引区分	01	市場	
締日区分	31	末締は31	
前回締日	04/11/30		
前回残高	250,000		
登録 (F1)		一覧 (F4)	削除 (F8)
終了 (F12)			
[Space] => 参照			

1. コード 登録する得意先コードを入力してください。
尚、すでに登録されているコードを入力した場合、登録されているデータが以降の項目に表示され、変更することができます。
2. 検索コード 検索画面等で使用する検索コードを入力してください。
尚、半角カタカナ文字で入力してください。
3. 得意先名 登録する得意先名を入力してください。
4. 担当者名 登録する得意先の担当者名を入力してください。
5. 敬称区分 帳票での出力時に付加する敬称を数値で入力してください。
尚、入力値は 1 = 御中, 2 = 様, 3 = 殿 となります。
6. 略称 登録する得意先の略称を入力してください。

7. 代表者名 登録する得意先の代表者名を入力してください。
8. 郵便番号 登録する得意先の郵便番号を入力してください。
尚、郵便番号下部の入力欄「住所1」に、対応する住所が表示されます。
※ 番号入力形式：XXX - XXXX (Xは任意の数字)
9. 住所1 登録する得意先の住所（ビル名等の前まで）を入力してください。
尚、住所1上部の入力欄「郵便番号」に、対応する郵便番号が表示されます。
10. 住所2 登録する得意先の住所（ビル名等）を入力してください。
11. 電話番号 登録する得意先の電話番号を入力してください。
12. FAX番号 登録する得意先のFAX番号を入力してください。
13. 携帯番号 登録する得意先（または担当者）の携帯電話番号を入力してください。
14. 取引区分 登録する得意先の取引区分を入力してください。
尚、取引区分は別画面の「取引区分登録」にて登録可能です。
15. 締日区分 登録する得意先の取引の締日を入力してください。
尚、区分は 1～3 1（末締）となります。
16. 前回締日 前回の締日を日付形式で入力してください。
17. 前回残高 前回締日での請求残高を入力してください。
18. 登録(F1)ボタン 画面表示内容を得意先マスタに登録します。
19. 一覧(F4)ボタン 登録されている得意先マスタの一覧表を出力する為の画面を開きます。
20. 削除(F8)ボタン 画面に表示されているコードの得意先情報を削除します。
尚、一度削除された情報は復元できません。
21. 終了(F12)ボタン マスタ登録メニューに戻ります。

701-1: 得意先一覧表

得意先一覧表			
範囲指定			
出力区分	1	(1:コード表, 2:住所録)	
得意先	00000	~	99999
検索コード		~	
作成日付	00/00/00	~	99/99/99

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

- 1. 出力区分** 一覧表として出力する帳票の種類を数値で指定します。
尚、入力値は
1 = コード表 (得意先コードと得意先名との対応表), 2 = 住所録
となります。
- 2. 得意先** 出力する得意先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の場合、両項目に同じ得意先コードを
入力してください。
- 3. 検索コード** 出力する得意先検索コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の場合、両項目に同じ得意先検索コードを
入力してください。
- 4. 作成日付** 出力する作成日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
- 5. 印刷(F1)ボタン** 範囲指定で入力された値に該当する得意先一覧表を印刷します。
- 6. プレビュー(F5)ボタン**
範囲指定で入力された値に該当する得意先一覧表の
印刷プレビュー画面を表示します。
- 7. 終了(F12)ボタン**
一つ前の画面である得意先マスタ登録へ戻ります。

702 : 仕入先マスタ登録

仕入先マスタ登録			
更 新			
仕入先マスタ登録			
仕 入 先 情 報			
コード	99999		
検索コード	シ		
仕入先名	㈱仕入先名称		
担当者名	555	アルファテック	
敬称区分	1	1 : 御中, 2 : 様, 3 : 殿	
略 称	㈱仕入先名称		
郵便番号	100-0000		
住 所 1	東京都千代田区		
住 所 2	XXビル		
電話番号	03-1234-5678		
FAX 番号	03-1234-5678		
携帯番号	090-1234-5678		
取引区分	05	小売	
加工コード	仕		
札出力名	S		
登録 (F1)	一覧 (F4)	削除 (F8)	終了 (F12)
[Space] => 参照			

1. コード 登録する仕入先コードを入力してください。
尚、すでに登録されているコードを入力した場合、登録されているデータが以降の項目に表示され、変更することができます。
2. 検索コード 検索画面等で使用する検索コードを入力してください。
尚、半角カタカナ文字で入力してください。
3. 仕入先名 登録する仕入先名を入力してください。
4. 担当者名 登録する仕入先の担当者名を入力してください。
5. 敬称区分 帳票での出力時に付加する敬称を数値で入力してください。
尚、入力値は 1 = 御中, 2 = 様, 3 = 殿 となります。
6. 略称 登録する仕入先の略称を入力してください。

7. 郵便番号 登録する仕入先の郵便番号を入力してください。
尚、郵便番号下部の入力欄「住所1」に、対応する住所が表示されます。
※ 番号入力形式：XXX - XXXX (Xは任意の数字)
8. 住所1 登録する仕入先の住所（ビル名等の前まで）を入力してください。
尚、住所1上部の入力欄「郵便番号」に、対応する郵便番号が表示されます。
9. 住所2 登録する仕入先の住所（ビル名等）を入力してください。
10. 電話番号 登録する仕入先の電話番号を入力してください。
11. FAX番号 登録する仕入先のFAX番号を入力してください。
12. 携帯番号 登録する仕入先（または担当者）の携帯電話番号を入力してください。
13. 取引区分 登録する仕入先の取引区分を入力してください。
尚、取引区分は別画面の「取引区分登録」にて登録可能です。
14. 加工コード 登録する仕入先の加工コードを入力してください。
15. 札出力名 登録する仕入先の札値出力名を入力してください。
16. 登録(F1)ボタン 画面表示内容を仕入先マスタに登録します。
17. 一覧(F4)ボタン 登録されている仕入先マスタの一覧表を出力する為の画面を開きます。
18. 削除(F8)ボタン 画面に表示されているコードの仕入先情報を削除します。
尚、一度削除された情報は復元できません。
19. 終了(F12)ボタン マスタ登録メニューに戻ります。

702-1: 仕入先一覧表

仕入先一覧表

仕入先一覧表

範囲指定			
出力区分	1	(1:コード表, 2:住所録)	
仕入先	00000	~	99999
検索コード		~	
作成日付	00/00/00	~	99/99/99

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

- 1. 出力区分** 一覧表として出力する帳票の種類を数値で指定します。
尚、入力値は
1 = コード表 (仕入先コードと仕入先名との対応表), 2 = 住所録
となります。
- 2. 仕入先** 出力する仕入先コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の場合、両項目に同じ仕入先コードを
入力してください。
- 3. 検索コード** 出力する仕入先検索コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の場合、両項目に同じ仕入先検索コードを
入力してください。
- 4. 作成日付** 出力する作成日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
- 5. 印刷(F1)ボタン** 範囲指定で入力された値に該当する仕入先一覧表を印刷します。
- 6. プレビュー(F5)ボタン**
範囲指定で入力された値に該当する仕入先一覧表の
印刷プレビュー画面を表示します。
- 7. 終了(F12)ボタン**
一つ前の画面である仕入先マスタ登録へ戻ります。

DM顧客マスター登録									
更新		DM顧客 登録							
DM顧客情報									
コード	0	00001							
検索コード	コキク イ								
顧客名	顧客 1								
担当者名	担当者 A								
敬称区分	2	1 : 御中, 2 : 様, 3 : 宛							
郵便番号	198-0031								
住所 1	東京都青梅市師岡町2								
住所 2	青梅街道ビル1F								
電話番号	03-1234-0000								
FAX 番号	03-0000-9876								
携帯番号	090-8888-8888								
条件設定	1	2							
重複チェック									
登録 (F1)		一覧 (F4)			削除 (F8)		終了 (F12)		
1:空番,2:新番,3:5万空番,4:5万新番									

1. コード (左側) 0以外の数値を入力した場合、右側のコード入力欄に指定条件に従う新番号を自動的に設定します。以下に、入力値の意味を記載します。

 - 0 = なし (通常の入力)
 - 1 = 空番 (現在未使用の番号を 0 から順番に発行)
 - 2 = 新番 (現在の最後の番号 + 1 の番号を発行)
 - 3 = 5万空番 (現在未使用の番号を 50,000 から順番に発行)
 - 4 = 5万新番 (現在の最後の番号 + 1 の番号を 50,000 から順番に発行)
2. コード (右側) 登録する DM 顧客コードを入力してください。
尚、すでに登録されているコードを入力した場合、登録されているデータが以降の項目に表示され、変更することができます。
3. 検索コード 検索画面等で使用する検索コードを入力してください。
尚、半角カタカナ文字で入力してください。
4. 顧客名 登録する DM 顧客名を入力してください。

5. 担当者名 登録する DM 顧客の担当者名を入力してください。
6. 敬称区分 帳票での出力時に付加する敬称を数値で入力してください。
尚、入力値は 1 = 御中, 2 = 様, 3 = 殿 となります。
7. 略称 登録する DM 顧客の略称を入力してください。
8. 郵便番号 登録する DM 顧客の郵便番号を入力してください。
尚、郵便番号下部の入力欄「住所 1」に、対応する住所が表示されます。
※ 番号入力形式：XXX - XXXX (X は任意の数字)
9. 住所 1 登録する DM 顧客の住所（ビル名等の前まで）を入力してください。
尚、住所 1 上部の入力欄「郵便番号」に、対応する郵便番号が表示されます。
10. 住所 2 登録する DM 顧客の住所（ビル名等）を入力してください。
11. 電話番号 登録する DM 顧客の電話番号を入力してください。
12. FAX 番号 登録する DM 顧客の FAX 番号を入力してください。
13. 携帯番号 登録する DM 顧客（または担当者）の携帯電話番号を入力してください。
14. 条件設定 登録する DM 顧客の条件設定を数値で入力してください。
15. 重複チェックボタン
登録されている DM 顧客情報で、その内容に重複しているものがあるかどうかを確認できる画面を開きます。
16. 登録 (F1) ボタン 画面表示内容を DM 顧客マスタに登録します。
17. 一覧 (F4) ボタン 登録されている DM 顧客マスタの一覧表を出力する為の画面を開きます。
18. 削除 (F8) ボタン 画面に表示されているコードの DM 顧客情報を削除します。
尚、一度削除された情報は復元できません。
19. 終了 (F12) ボタン
マスタ登録メニューに戻ります。

703-1 : 顧客マスタ検索 (重複チェック)

顧客マスタ検索

重複チェック チェック項目 (1:カナ略称, 2:住所, 3:電話番号, 4:携帯番号, 5:顧客名)

コード	顧客名	住所	電話番号	携帯番号
00339	顧客 太郎	東京都千代田区	03-1234-5678	
01053	顧客 花子	東京都千代田区	03-1234-5678	

終了 (F12)

1. チェック項目 顧客のデータで重複チェックを行う項目を数値で指定します。
尚、項目は
1 : カナ略称, 2 : 住所, 3 : 電話番号, 4 : 携帯番号, 5 : 顧客名
となります。尚、入力値は
1 = カナ名称, 2 = 住所, 3 = 電話番号,
4 = 携帯番号, 5 = 顧客名
となります。
2. 検索ボタン 指定のチェック項目に従い、データの検索チェックを実行します。
尚、チェック結果は画面中央のリストに表示されます。
3. 終了(F12)ボタン 一つ前の画面である DM 顧客マスタ登録へ戻ります。

703-2 : 顧客一覧表

顧客一覧表

顧客一覧表

範囲指定	
出力区分	1 (1:コード表, 2:住所録)
顧客	00001 ~ 98000
検索コード	コキク 仔 ~ コキク キュウ
作成日付	04/07/01 ~ 04/08/20
条件設定	1

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

1. 出力区分 一覧表として出力する帳票の種類を数値で指定します。
尚、入力値は
1 = コード表 (顧客コードと顧客名との対応表), 2 = 住所録
となります。
2. 顧客 出力する顧客コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の場合、両項目に同じ顧客コードを
入力してください。
3. 検索コード 出力する顧客検索コードを「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の場合、両項目に同じ顧客検索コードを
入力してください。
4. 作成日付 出力する作成日付を、日付形式で「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
5. 条件設定 出力する顧客の条件設定を指定します。
6. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当する顧客一覧表を印刷します。
7. プレビュー(F5)ボタン
 範囲指定で入力された値に該当する顧客一覧表の
 印刷プレビュー画面を表示します。
8. 終了(F12)ボタン
 一つ前の画面である DM 顧客マスタ登録へ戻ります。

705 : 石マスタ登録

石マスタ

石マスタ登録

石	石名	石区分
00		0
AL	アレキ	0
AQ	アクアマリン	0
DA	ダイヤモンド	0
EM	エメ	0
PT	ピンクトルマリン	0
R	ルビー	0
SA	サファイヤ	0
SU	水晶	0
T	トルマリン	0

石	石名	石区分
T	トルマリン	0

登録 (F1)

削除 (F8)

一覧表 (F4)

終了 (F12)

1. 石 登録する石コードを入力してください。尚、すでに登録されているコードを入力した場合、登録されているデータが以降の項目に表示され、変更することができます。
2. 石名 登録または変更する石名を入力してください。
3. 石区分 登録または変更する石区分を入力してください。
4. 登録 (F1) ボタン 入力された石を登録します。
5. 一覧表 (F4) ボタン 登録されている石マスタの一覧表の印刷プレビュー画面を表示します。
6. 削除 (F8) ボタン 登録されている石を削除します。
7. 終了 (F12) ボタン マスタ登録メニューに戻ります。

706 : 品種マスタ登録

品種マスタ

品種マスタ登録

品種	品 種 名
BL	ブレス
BR	ブローチ
EP	EGピアス
ER	イヤリング
FR	ファッションリング
L	ルース
N	ネックレス
P	ピアス
PB	ペンブローチ
PN	ペンネックレス

品種	品 種 名
R	リング

登録 (F1)

削除 (F8)

一 覧 表 (F4) 終 了 (F12)

1. 品種 登録する品種コードを入力してください。尚、すでに登録されているコードを入力した場合、登録されているデータが以降の項目に表示され、変更することができます。
2. 品種名 登録または変更する品種名を入力してください。
3. 登録(F1)ボタン 入力された品種を登録します。
4. 一覧表(F4)ボタン 登録されている品種マスタの一覧表の印刷プレビュー画面を表示します。
5. 削除(F8)ボタン 登録されている品種を削除します。
6. 終了(F12)ボタン マスタ登録メニューに戻ります。

708 : 担当者マスタ登録

担当者	担当者名
001	山田
002	鈴木
003	加藤

担当者	担当者名

登録 (F1)

削除 (F8)

一覧表 (F4) 終了 (F12)

1. 担当者 登録する担当者コードを入力してください。
尚、すでに登録されているコードを入力した場合、登録されているデータが以降の項目に表示され、変更することができます。
2. 担当者名 登録または変更する担当者名を入力してください。
3. 登録 (F1) ボタン 入力された情報を登録します。
4. 一覧表 (F4) ボタン 登録されている担当者マスタの一覧表の印刷プレビュー画面を表示します。
5. 削除 (F8) ボタン 登録されている担当者を削除します。
6. 終了 (F12) ボタン マスタ登録メニューに戻ります。

714 : その他商品登録

その他商品登録

その他商品登録

商品番号	地金名	中石名	品種名
00001 80000 000			保証書
00002 80001 000			加工賃
----- 99910 000	ダイヤル		
----- 99911 000	ルビー		
----- 99912 000	サファイヤ		

商品番号	地金名	中石	品種名
在庫区分			
9	在庫管理なし		

登録(F1)

一覧表(F4) 終了(F12)

- 商品番号 登録する商品の商品コードおよび商品番号を入力してください。
3つの入力欄は、左から順番に
「商品コード」「商品番号」「商品番号（子番）」
と並んでいます。該当する商品がある場合はメッセージが表示され
登録することはできません。
尚、入力値は 通常：00000～89999，地金：99900～99999 となります。
また、商品番号が”999XX”で始まる商品に関しましては、
商品地金として各入力処理で使用することが可能です。
(委託入力、売上入力、展示会持出入力にて使用)
- 地金名 地金コードを入力してください。(1桁)
- 中石名 石コードを入力してください。(2桁)
- 品種名 品種コードを入力してください。(2桁)
- 登録(F1)ボタン 入力された情報を登録します。
- 一覧表(F4)ボタン 登録されているその他商品の一覧表を出力する為の画面を開きます。
- 終了(F12)ボタン マスタ登録メニューに戻ります。

714-1: その他商品一覧表

範囲指定		
商品番号	00000	~ 99999

印刷 (F1) プレビュー (F5) 終了 (F12)

1. 商品番号 出力する商品番号を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一の場合、両項目に同じ商品番号を入力してください。
2. 印刷(F1)ボタン 範囲指定で入力された値に該当するその他商品一覧表を印刷します。
3. プレビュー(F5)ボタン
 範囲指定で入力された値に該当するその他商品一覧表の
 印刷プレビュー画面を表示します。
4. 終了(F12)ボタン
 一つ前の画面であるその他商品登録へ戻ります。

720 : 旧商品情報削除

旧商品情報削除			
商品番号	00002 000	仕入日	98/05/07
地 金	0		
品 種	L ルース		
中 石	00 オパール		2.865
脇 石			
付 属 石			
仕 入 先	00100 80318		
モデル名			
グレード			
保証書			
デザイン			
備 考		G-0203	
重 量		長 さ	0.00
社 内 数	1	登録原価	12,000
委 託 数	0	加工賃	0
持 出 数	0	札 値	0
つぶし数	0	在庫原価	12,000
削 除 (F7)		終 了 (F12)	

1. 商品番号 削除する商品番号を入力します。
2. 削除(F7)ボタン 表示商品を削除します。
3. 終了(F12)ボタン マスタ登録メニューに戻ります。

9) 地金処理メニュー

… 地金処理に関するメニューです。

地金処理メニュー		
01: 仕入入力	30: 日次帳票	801: つぶし渡し入力
02: 商品変更	40: 随時帳票	802: つぶし入力
04: 展示会持出入力	42: 月次帳票	803: つぶし管理表
05: 委託入力	44: 売掛・買掛帳票	811: 地金支給入力
06: 売上入力	50: 棚卸処理	812: 地金戻し入力
07: 加工入力	60: 更新処理	831: 在庫一覧表(社内)
08: 分解入力	70: マスタ登録	832: 在庫一覧表(地金)
09: 仕上り入力	80: 地金在庫	833: 在庫調整リスト
10: 商品照会	90: バックアップ	841: 商品出納帳(地金)
20: 値札印刷	99: システム終了	842: 商品出納帳
		843: 商品台帳(半製品)
		851: コスト調整処理

処理No

1. 表示されているボタンをクリックするか、または画面右下部の「処理No」に、ボタンに表示されている番号を入力する事で各処理の画面を開きます。

801: つぶし渡し入力	つぶし渡し伝票の登録、更新を行います。
802: つぶし入力	つぶし処理が完了した伝票の登録、更新を行います。
803: つぶし管理表	加工先ごとのつぶし処理の管理表を出力します。
811: 地金支給入力	地金支給伝票の登録、更新を行います。
812: 地金戻し入力	地金戻し伝票の登録、更新を行います。
831: 在庫一覧表(社内)	月ごとの社内での地金在庫一覧表を出力します。
832: 在庫一覧表(地金)	地金ごとの在庫一覧表を出力します。
833: 在庫調整リスト	在庫調整表を出力します。
841: 商品出納帳(地金)	社内での地金出納帳を出力します。
842: 商品出納帳	加工先ごとの地金出納帳を出力します。
843: 商品台帳(半製品)	商品台帳の半製品を出力します。
851: コスト調整入力	地金ごとにコスト(単価)調整を行います。

801：つぶし渡し入力

つぶし渡し入力											
修正											
伝票番号	取引区分	地金精錬先名			入力担当者		伝票日付				
000011	1 渡し	00999	B質屋		555	AWファテック	05/01/25				
登録											
行	商品番号	地金名	品名	石名	数量	金額	K18	Pt	K18Pt	石目	
001	PDAN 05684 000	Pt	ネックレス	ダイヤモンド	1	340,000		.00		0.500	
002	PALR 05683 000	Pt	リング	アレキ	1	480,000		.00		1.200	
003	PDAR 05682 000	Pt	リング	ダイヤモンド	1	180,000		.00		0.800	
004											
005											
006											
007											
008											
009											
010											
合計					3	1,000,000	0.00	0.00	0.00	2.500	
行	商品番号	地金名	品名	石名	数量	金額	K18	Pt	K18Pt	石目	
002	PALR 05683 000	Pt	リング	アレキ	1	480,000				1.200	
行削除 (F7)					登録 (F1)						
伝票削除 (F8)						伝票終了 (F12)					

1. 伝票番号

登録または更新するつぶし渡し伝票の伝票番号を入力してください。該当する伝票がない場合は画面左上部に「新規」、該当する伝票がある場合は「修正」と表示されます。尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に1を足した番号が割り振られます。
2. 取引区分

この伝票での取引を数値で入力してください。尚、入力値は 1 = 渡し, 2 = 戻し となります。
3. 地金精錬先名

登録する精錬先について、マスタ登録されている仕入先コードを入力してください。該当する仕入先がある場合は隣の欄に、仕入先の名称が表示されます。また、該当する仕入先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
4. 入力担当者

登録する担当者のコードを入力してください。該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
5. 伝票日付

つぶし渡し伝票の日にちを日付形式で入力してください。

6. 登録ボタン 画面上部の登録ボタンは、画面上部の伝票の基本的な情報（明細を除く）を登録します。伝票が新規の場合、または更新時情報に変更があった場合のみ使用できるようになります。
7. 行 表示または登録する商品の伝票内での行番号を入力してください。また、伝票を更新する場合、こちらの行番号を入力することで登録されている商品の情報を以降の欄に表示します。尚、画面下部の登録ボタンをクリックした場合のみ、新規、更新に関係なく自動的に次の行番号が表示されます。
8. 商品番号 登録する商品の商品番号を入力してください。3つの入力欄は、左から順番に「商品コード」「商品番号」「商品番号（子番）」と並んでいます。新規の行を追加する場合、商品番号を入力することで該当する商品が登録されている場合は以降の欄に商品の情報が表示されます。尚、伝票を更新する場合、すでにある行の情報は変更できません。
9. 地金名、品種名、中石名、数量、金額、石目 登録する商品の各々の情報が表示されます。尚、地金名、品種名、中石名は参照のみです。
10. K18、Pt、K18Pt 登録する商品の重量を地金マスタの地金区分から判断し表示します。また、各項目に振り分けて入力することも可能です。
11. 登録(F1)ボタン 現在、画面下部に表示されている商品を登録します。
12. 行削除ボタン 画面下部の明細行欄に表示されている商品を、現在の伝票から削除します。尚、取引が返品または、つぶし入力されていない伝票のみ、このボタンが使用できるようになります。また、このボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



13. 伝票削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、
よろしければ「OK」をクリックしてください。
削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



14. 伝票終了 / 終了ボタン

つぶし渡し伝票の入力画面を終了し、メニューに戻ります。
尚、画面を開いた状態ではボタンの表示は「終了」ですが、新規入力
で伝票を登録するか、または伝票を更新する場合にボタンの表示が
「伝票終了」に変わります。
ボタンの表示が「伝票終了」の時にクリックすると現在入力中の伝票の
処理を終了し、明細の印刷が可能です。
「終了」の時にクリックすると入力画面を閉じてメニューに戻ります。

802 : つぶし入力

つぶし入力									
伝票番号	仕入先名		渡し日	数量	金額	K18	Pt	K18Pt	石目
000011	00999	B質屋	05/01/25	3	1,000,000	0.00	92.00	0.00	2.500
入力担当者			つぶし日	加工賃					
555		アルファテック	05/02/01	15,200					

商品名		重量/石目	単価	金額
03	Pt900	92.000	2,600	239,200
10	ダイヤル	1.300	360,000	468,000
11	ルビー	1.200	0	308,000
合計				1,015,200

登録 (F1)	削除 (F8)	終了 (F12)
---------	---------	----------

1. 伝票番号 つぶし渡し入力で登録された伝票番号を入力ください。
 該当する伝票がない場合はメッセージが表示されます。
2. 仕入先名、渡し日、数量、金額、
 K18、Pt、K18Pt、石目
 登録する商品の各々の情報が参照表示されます。
3. 入力担当者 登録する担当者のコードを入力してください。
 該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。
 また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
 ※尚、伝票番号入力時はつぶし渡し入力にて、登録した担当者名が表示されます。
4. つぶし日 つぶし日を日付形式で入力してください。
5. 加工賃 つぶし処理で使用された加工賃を入力してください。
6. 商品名 つぶし上りされた商品を入力してください。
7. 重量/石目 つぶし上りされた商品の重量及び石目を入力してください。

8. 単価 指定商品の単価を入力してください。
既定値として前回設定された金額が表示されます。
尚、単価を 0 と入力した場合、現在の残額が金額に設定されます。
9. 金額 つぶし上りされた商品の金額が表示されます。
10. 登録(F1)ボタン 現在、入力されている各商品情報を登録し、つぶし入力を完了します。
11. 行削除ボタン 現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



12. 終了(F12)ボタン つぶし入力画面を終了し、メニューに戻ります。

803 : つぶし管理表

つぶし管理表

出力区分 **2** (1:残高のみ, 2:全て) 渡し日 00/00/00 ~ 99/99/99 実行

伝票番号	加工先名	渡し日	数量	金額	上り日	加工賃	地金種	重量	単価	金額
000011	A宝石	05/01/25	2	850,000	05/02/01	12,000	K18	4.50	1,400	6,300
							ダイヤル-	1.00	820,000	820,000
							加工賃	0.00	0	35,700
000012	I貴金属	05/01/25	1	450,000						
合計				1,300,000		12,000		6	合計	862,000
K18	ダイヤル-	加工賃								
4.50	1.00	0.00								

印刷 (F1) プレビュー (F5) 戻る (F10) 終了 (F12)

1:残高のみ, 2:全て

- 出力区分 画面に表示するつぶし管理表の区分を入力してください。
尚、入力値は 1 = 残高のみ, 2 = 全て となります。
- 渡し日 画面に表示する範囲の渡し日を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日付の場合、両項目に同じ渡し日を入力してください。入力後、実行ボタンを押しますと、つぶし情報が画面に表示されます。
- 印刷(F1)ボタン 画面に表示されているつぶし情報を印刷します。
- プレビュー(F5)ボタン 画面に表示されているつぶし情報の印刷プレビュー画面を表示します。
- 戻るボタン フォーカスを出力区分に移動します。
- 終了ボタン 地金処理メニューへ戻ります。

9. 商品名(右側) 支給後の商品を入力してください。
10. 換算重量 支給前の商品及び、支給後の商品の換算率が表示されます。
尚、換算率は換算地金登録にて入力してください。
11. 重量(右側) 支給後の商品の重量を入力してください。
12. へり% 支給によるへり率を表示します。
13. 登録(F1)ボタン 現在、入力されている各商品情報を登録し、地金支給入力を完了します。
14. 伝票削除(F8)ボタン
現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、
よろしければ「OK」をクリックしてください。
削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



15. 終了(F12)ボタン
地金支給入力画面を終了し、メニューに戻ります。

812 : 地金戻し入力

地金戻し入力				
伝票番号	加工先名		入力担当者	伝票日付
000002	99998	隣加工先名称	555 アルファテック	05/01/25

商品名	重量	商品名	重量	単価	金額
05 K18	333.33	02 K24	250.00	1,400.00	350,000
				合計	350,000

登録 (F1)	伝票削除 (F8)	終了 (F12)
---------	-----------	----------

1. 伝票番号

登録または更新する地金戻し伝票の伝票番号を入力してください。
 該当する伝票がない場合は新規登録されます。
 尚、何も入力せずに先の項目に進んだ場合は、登録時に自動的に現在の最後の番号に 1 を足した番号が割り振られます。
2. 加工先名

登録する加工先について、マスタ登録されている仕入先コードを入力してください。該当する仕入先がある場合は隣の欄に、仕入先の名称が表示されます。また、該当する仕入先がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
3. 入力担当者

登録する担当者のコードを入力してください。
 該当する担当者がある場合は隣の欄に、担当者の名称が表示されます。また、該当する担当者がない場合は該当なしを伝えるメッセージが表示されます。
4. 伝票日付

地金戻し伝票の日にちを日付形式で入力してください。
5. 商品名(左側)

変更前の商品を入力してください。
6. 重量(左側)

変更前の商品重量を入力してください。
7. 商品名(右側)

変更後の商品を入力してください。

8. 重量(右側) 変更後の商品の重量を入力してください。
9. 単価 変更後の商品単価を入力してください。
既定値として前回設定された金額が表示されます。
10. 金額 変更後の商品金額が表示されます。
11. 登録(F1)ボタン 現在、入力されている各商品情報を登録し、地金戻し入力を完了します。
12. 伝票削除(F8)ボタン
現在画面に表示されている伝票を削除します。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後下記のメッセージが表示されますので、よろしければ「OK」をクリックしてください。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



13. 終了(F12)ボタン
地金戻し入力画面を終了し、メニューに戻ります。

831 : 在庫一覧表(社内)

在庫一覧表(社内)

出力年月 **05**年 01 月度 実行

地金名	前月残	仕入数	つぶし上り	支給数	加工数	当月残	単価	当月金額
01 Pt900	1,565.380	0.000	0.000	0.000	0.000	1,565.380	2,636	4,126,337
02 K24	3,103.990					3,103.990	1,084	3,364,596
03 Pt	0.000					0.000	0	0
10 タイヤル-	1,517.528	0.000	0.000	0.000	0.000	1,515.508	25,708	38,960,239
11 ルビ-ル-	193.289					193.289	6,795	1,313,471
12 サファイアル-	234.758					234.758	1,336	313,724
合計	6,614.946	0.000	0.000	0.000	0.000	6,612.926		48,078,367

印刷 (F1) プレビュー (F5) 戻る (F10) 終了 (F12)

- 出力年月 画面に表示する在庫一覧表の対象となる年月を指定します。
入力後、実行ボタンを押すと画面中央のリストに入力された年月の在庫一覧表が表示されます。
尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
- 印刷(F1)ボタン 画面に表示されている在庫一覧表を印刷します。
- プレビュー(F5)ボタン 画面に表示されている在庫一覧表の印刷プレビュー画面を表示します。
- 戻るボタン フォーカスを出力年に移動します。
- 終了ボタン 地金処理メニューへ戻ります。

832 : 在庫一覧表(地金)

在庫一覧表(地金)

出力年月 **05**年 **01**月度 処理区分 **1** 地 金 **02** **K24** 加工先 実行

加工先	前月残	支給数	加工数	へり数	戻し数	当月残	単価	金額
00001 A宝石	-200.00	102.00	0.00	0.00	0.00	-98.00	-10,286	1,008,000
00060 鑲宝石M	0.00	129.20	0.00	0.00	20.00	109.20	1,308	142,800
00063 QC貴金属	0.00	238.00	0.00	0.00	0.00	238.00	1,647	392,000
00090 社内転記	0.00					0.00	0	0
合計	-200.00	469.20	0.00	0.00	20.00	249.20		1,542,800

印刷 (F5) 戻る (F10) 終了 (F12)

- 出力年月 画面に表示する在庫一覧表の対象となる年月を指定します。
入力後、実行を押すと画面中央のリストに入力された年月の在庫一覧表が表示されます。尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
- 処理区分 画面に表示する在庫一覧表の処理区分を入力します。
尚、入力値は 1 = 地金, 2 = 仕入先 となります。
- 地金 画面に表示する在庫一覧表の地金を入力します。
尚、処理区分が 1:地金 の場合のみ入力が可能です。
- 加工先 画面に表示する在庫一覧表の加工先を入力します。
尚、処理区分が 2:仕入先 の場合のみ入力が可能です。
入力後、実行ボタンを押しますと、画面に在庫一覧表が表示されます。
- 印刷ボタン 画面に表示されている在庫一覧表を印刷します。
- プレビューボタン 画面に表示されている在庫一覧表の印刷プレビュー画面を表示します。
- 戻るボタン フォーカスを出力年に移動します。
- 終了ボタン 地金処理メニューへ戻ります。

833 : 在庫調整リスト

在庫調整リスト

在庫調整リスト

期 間(年月) **05/01** ~ 05/01 実行

商品番号	加工日	加工先		原 価	重 量
CDA00-90531-000	05/01/14	00999	B宝石	109,800	10.10

印刷 (F1) プレビュー (F5) 戻 る (F10) 終 了 (F12)

1. 期間(年月) 画面に表示する範囲の期間を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
入力後、実行ボタンを押すと画面中央のリストに入力された年月の
在庫調整リストが表示されます。
2. 印刷(F1)ボタン 画面に表示されている在庫調整リストを印刷します。
3. プレビュー(F5)ボタン
画面に表示されている在庫調整リストの印刷プレビュー画面を
表示します。
4. 戻るボタン フォーカスを期間に移動します。
5. 終了ボタン 地金処理メニューへ戻ります。

841：商品出納帳(地金)

商品出納帳(地金)

商品出納帳(地金)

地 金 **04** K18 期 間 04/11/01 ~ 99/99/99 実行

日付	摘 要	入 庫	入 庫 額	出 庫	出 庫 額	残 数	残 額
	前月残数					141.160	336,541
11/26	加工 鑲宝石M (000167)			2.280	5,026	138.880	331,515
01/25	仕入 I貴金属 (000354)	250.000	350,000			388.880	681,515
01/25	支給 A宝石 (000008)			120.000	168,000	268.880	513,515
合 計		250.000	350,000	122.280	173,026		

印 刷 (F1) プレビュー (F5) 戻 る (F10) 終 了 (F12)

スペース：検索

1. 地金 画面に表示する商品出納帳の地金を入力します。
2. 期間(年月) 画面に表示する範囲の期間を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
入力後、実行ボタンを押すと画面中央のリストに入力された年月の
商品出納帳が表示されます。
3. 印刷(F1)ボタン 画面に表示されている商品出納帳を印刷します。
4. プレビュー(F5)ボタン 画面に表示されている商品出納帳の印刷プレビュー画面を表示します。
5. 戻るボタン フォーカスを地金に移動します。
6. 終了ボタン 地金処理メニューへ戻ります。

842 : 商品出納帳

商品出納帳

商品出納帳

地 金 **02** K24 取引先 00001 A宝石 期 間 04/11/01 ~ 99/99/99 実行

日付	摘 要	入 庫	入 庫 額	出 庫	出 庫 額	へり率	残 数	残 額
	前月残数						0.00	0
12/22	加工 000945			200.00	280,000	1.00	-200.00	-280,000
01/25	支給 000008	102.00	168,000				-98.00	-112,000
合 計		102.00	168,000	200.00	280,000			

印 刷 (F1) プレビュー (F5) 戻 る (F10) 終 了 (F12)

スペース : 検索

1. 地金 画面に表示する商品出納帳の地金を入力します。
2. 取引先 画面に表示する取引先を入力します。
3. 期間(年月) 画面に表示する範囲の期間を「下限」「上限」と指定します。
尚、出力対象が同一日の場合、両項目に同じ日付を入力してください。
入力後、実行ボタンを押すと画面中央のリストに入力された年月の商品出納帳が表示されます。
4. 印刷(F1)ボタン 画面に表示されている商品出納帳を印刷します。
5. プレビュー(F5)ボタン
 画面に表示されている商品出納帳の印刷プレビュー画面を表示します。
6. 戻るボタン フォーカスを地金に移動します。
7. 終了ボタン 地金処理メニューへ戻ります。

851 : コスト調整処理

コスト調整処理															
出力年月		05	年	01	月度	PT	2,600	K	1,400	WG	950	Pd	700	ルース	25,440
							2,596		1,488		520		263		
調整 (F1)															
PT	重量	台帳コスト	調整コスト	差額コスト	K	重量	台帳コスト	調整コスト	差額コスト	W	重量	台帳コスト	調整コスト	差額コスト	
P01	1,565.38	4,126,337	4,069,988	-56,349	K02	2,856.92	2,985,229	3,999,688	1,014,459	KA05	-174.60	-190,972	-165,870	25,102	
PA03	-86.24	-10,825	-224,224	-213,399	K04	180.00	182,000	182,000	0	KA06	255.17	311,774	242,412	-69,363	
PP103	231.63	523,187	602,243	79,056	K002	-98.00	1,008,000	-137,200	-1,145,200	KP105	12.92	10,973	12,274	1,301	
PP03	-3.36	-7,392	-8,736	-1,344	KA04	134.39	321,630	188,146	-133,484	KP106	253.91	126,858	241,215	114,357	
PB03	26.46	-65,779	68,796	134,575	KB04	4.49	9,895	6,286	-3,599	KP05	-1.45	-1,963	-1,378	586	
PO03	45.47	100,034	118,222	18,188						KP06	203.14	191,014	192,983	1,969	
P3203	7.40	0	19,240	19,240						KB05	2.13	1,917	2,024	107	
PH03	96.34	224,084	250,484	26,400						KK05	34.50	25,577	32,775	7,198	
										KN05	131.98	-166,415	125,384	291,799	
										KN06	-97.38	-102,703	-92,511	10,192	
										KO05	4.97	4,473	4,722	249	
										KM06	18.87	16,983	17,927	944	
										KH05	123.04	110,582	116,888	6,306	
										KH06	163.00	146,521	154,850	8,329	
合計	1,893.08	4,889,646	4,896,013	6,367	合計	3,027.80	4,506,744	4,238,920	-267,824	合計	930.20	484,619	883,693	399,074	
比率	%	%	%		比率	%	%	%		比率	14 %	4 %	8 %		
Pd	重量	台帳コスト	調整コスト	差額コスト	地金	重量	金額	平均単価	D	石目	台帳コスト	調整コスト			
合計	614.25	162,024	429,975	267,951	合計	6,455.34	10,043,033	1,556	合計	1,515,508	38,960,239	38,554,671			
比率	9 %	1 %	4 %										-405,568		
登 録 (F5)								終 了 (F12)							

- 出力年月 画面に表示する地金コストの対象となる年月を指定します。
入力後、「Enter」キーを押すと各画面リストに重量及び、台帳コストが表示されます。尚、年は西暦の下二桁を入力してください。
- PT, K, WG, Pd(上段) コスト調整を行う単価を入力します。
既定値には最近使用した地金単価が表示されています。
- PT, K, WG, Pd(下段), ルース 各地金の重量及び、台帳コストからの平均単価が表示されています。
尚、下段は参照のみとなります。
- 調整(F1)ボタン 各地金単価(上段)でコスト調整を行った結果を画面に表示します。

5. 登録 (F5) ボタン コスト調整額の登録を行います。
このボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されます。



パスワード入力後コスト調整額の登録を実行します。

6. 終了 (F12) ボタン
地金処理メニューへ戻ります。